大学番号:私288

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置



九州国際大学 現代ビジネス学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人九州国際大学 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 大学事務局大学総務室

 対力
 対力
 キ

 取名・氏名
 室長
 水
 上
 直
 紀

電話番号 093-671-8910

(夜間) 093-671-8910

F A X 093-671-9035

e —mail mizukami@office.kiu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出 について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代ビジネス学部

< 1	也域経済学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 15
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 16
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 17
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 31
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 32
<≣	国際社会学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 35
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 39
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 48
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 49
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 50
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 61
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 62

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人九州国際大学

(2) 大学名

九州国際大学

(3) 大学の位置

〒805-8512 福岡県北九州市八幡東区平野一丁目6番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(タカノ トシアキ) 高 野 利 昭 (平成20年2月)		
学長	(ホッタ ヤスジ) 堀 田 泰 司 (平成23年9月)	(ニシカワ キョウコ) 西川 京子 (平成28年10月)	任期満了のため 変更年月日:平成28年10月1日(29)
学 部 長	(オザワ トモハル) 男 澤 智 治 _(平成29年4月)	(ノムラ マサノブ) 野 村 政 修 (平成30年4月)	一身上の都合により学部長退任のため 変更年月日:平成30年4月1日 (30)
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	川 行
現代ビジネス学部 地域経済学科 学士(経済学)		年 4	250	年次 人 一	1,000	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	N⊞ √⊃
A 入学定員	人 人 250 (—) [—]	250 (–) [–]	(-) [-]	(-) [-]		
志願者数	487 — (–) (–) [37] [–]	414 — (–) (–) [47] [–]				
受験者数	486 — (–) (–) [36] [–]	409 — (–) (–) [44] [–]			1. 19倍	
合格者数	427 — (–) (–) [34] [–]	376 — (–) (–) [40] [–]	(-) (-) [-]			
B 入学者数	330 — (–) (–) [27] [–]	267 — (–) (–) [37] [–]		-		
入学定員超過率 B/A	1.32	1. 06	_	_		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象:	年度 平成 2	9年度	平成3	0年度	平成 3	1年度	平成3	2 年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1/H	45
	330	_	267	_	_	_	_	_		
1 年次	[27]	[-]	[37]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
			308	_	_	_	_	_		
2年次			[20]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
					_	_	_	_		
3 年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
					(-)	(-)	(-)	(-)		
							_	_		
4 年次							[-]	[-]		
							(-)	(-)		
		30		75 	-	-	-	- [
計		27]	[5	7]	[-	-]	- ا	-]		
	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分										
	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由				
対象年度			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数					
平成29年度	330 人	22 人	平成29年度	22 人	7 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(3人)、就職(3人)、家庭の事情(2人)、除籍(9人)、その他(3人)				
平成30年度	575 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人					
十成00年度	575 X	0 X	平成30年度	0 人	0 人					
		- 人	- 人	- 人			平成29年度	- 人	- 人	
平成31年度	- 人				平成30年度	- 人	- 人			
			平成31年度	- 人	- 人					
					平成29年度	- 人	- 人			
亚成32年度	_ <u>_</u> ,	- 人	平成30年度	- 人	- 人					
平成32年度	— 人		平成31年度	- 人	- 人					
			平成32年度	- 人	- 人					
合 計	905 人	22 人								

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	22 330	=	6.66 %
【平成30年度】			
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	<u>0</u> 575	=	0 %
【平成31年度】			
平成31年度の退学者数(a) = - 平成31年度の在学者数(b) = -		=	#VALUE! %
【平成32年度】			
平成32年度の退学者数(a) = <u>-</u> 平成32年度の在学者数(b) = -		=	#VALUE! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代ビジネス学部 地域経済学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

Г				配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	四刀			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼扣
H			入門セミナー I	1前	2	1)(ш	12	5	Pili	<u>权</u>		8
		₩	入門セミナーⅡ	1後	2			12	5		5		8
		基礎	情報処理A	1前・後		1		1	Ü				1
		科	情報処理B	1後		1		1					1
		目	アカデミックライティングI	1前		2		1					5
			アカデミックライティングⅡ	1後		2		1					5
			英語 I	1前	2	_		2	1				8
			英語Ⅱ	1後	2			2	1				8
			英語(リーディング)	1前・後		2		2	1				4
			英語(ライティング)	1前・後		2		2	1				3
			英語(日常英会話)	1前・後		2							2
	基		英語(ビジネス英会話)	1前・後		2							2
	幹		ドイツ語 I	1前		2							2
	教		ドイツ語Ⅱ	1後		2							2
	育科		ドイツ語Ⅲ	2前		2							1
	目	外	中国語 I	1前		2			1		1		1
	群	国	中国語Ⅱ	1後		2			1		1		1
		語科	中国語Ⅲ	2前		2					1		
		目	韓国語 I	1前		2							4
			韓国語Ⅱ	1後		2							4
			韓国語Ⅲ	2前		2							2
			インドネシア語 I	1前		2							2
			インドネシア語Ⅱ	1後		2							2
			インドネシア語Ⅲ	2前		2							1
			日本語 I	1前		2							1
			日本語Ⅱ	1後		2							1
			日本語Ⅲ	2前		2							1
共			日本語Ⅳ	2後		2							1
通教			学園史	1前		2							1
育			哲学	1前		2							1
科			日本史	1前		2							1
目			外国史	1前・後		2		1					
		人	日本文学	1前・後		2							1
		文	心理学	1前・後		2							1
			外国文学	2前		2			1				1
			倫理学	2前・後		2							1
	教		教育学	2後		2			1				1
	養		知の技法	2後	_	2		_					1
	教		日本文化	1前		2							1
	育科		法学	1前・後		2			•		_		1
	目		経済学	1前・後		2		1	2		1		-
	群	<u>.</u> .	社会学	1前・後		2		-					1
			地域連携講座	1後		2		1					_
		云	日本国憲法	2前		2							1
			人権論	2後		2					-1		1
			地域学	2前		2		1			1		
			日本経済 自然科学概論	1後	-	2		1					1
		_		1前	-			-			1		1
		自然	健康科学 数学	1前·後 1前·後		2					1		1
		2015	致字 環境科学			2							1
	1	F	^{環境科学} キャリアデザイン	1後 1後	2								1
	- 1		キャリアプラン	2前		2							1
	万	7	インターンシップ	2通		2							1
	E	1	イ フダーフシップ キャリアプラン実践	2週3後	-	2		-					1
	君	Ę	スポーツ実技	1前・後		1					1		2
	ž		海外語学実習	2通		2		1			-		2
	実習	3	海外社会実習	2通		2		2					3
		3	国内社会実習	2通		2		2			1		2
_	目群	ŧ		上但			1						۷

【平成30年度】

				配	ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目		授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助		任・
	区分	•	汉本村口の石切	年次		. —			教				兼
			7.00		修	択	由	授	授	師	教	手	担
			入門セミナー I	1前	2			5	6		4		0
		基	入門セミナーⅡ	1後	2			5	6		4		0
		礎	情報処理A	1前・後		1		2					0
		科	情報処理B	1後		1		1					0
		目	アカデミックライティング I	1前		2		2					5
			アカデミックライティング I	1後		2		2					5
			英語 I	1前・後	2			2	1				7
			英語Ⅱ	1前・後	2			2	0				7
			英語(リーディング)	1前・後		2		0	1				2
			英語(ライティング)	1前・後		2		2	1				3
			英語(日常英会話)	1前・後		2		1					3
	基		英語(ビジネス英会話)	1前・後		2		1					2
	幹		ドイツ語 I	1前・後		2							1
	教		ドイツ語Ⅱ	1前・後		2							1
	育		ドイツ語皿	2前		2							1
1	科日	外	中国語 I	∠月リ 1前・後		2			1		1		2
1	目群	国	中国語Ⅱ			2			1				2
1	111	語		1前・後 つ ユに	-				-		1		
1		科	中国語皿	2前		2		_	4		1		
1		目	韓国語I	1前・後		2		1	1				4
1			韓国語Ⅱ	1前・後		2		1					3
			韓国語皿	2前		2							1
			インドネシア語 I	1前・後		2							2
			インドネシア語Ⅱ	1前・後		2							2
			インドネシア語Ⅲ	2前		2							1
			日本語 I	1前		2		1					1
			日本語Ⅱ	1後		2		1					1
			日本語Ⅲ	2前		2							1
共			日本語Ⅳ	2後		2							1
通			学園史	1前		2		1					
教			哲学	1前		2							1
育			日本史	1前		2							1
科目			外国史	1前・後		2		0	1				
ľ			日本文学	1前・後		2		•	-				1
		人	心理学	1前・後		2							1
		文							4				
			外国文学	2前		2			1				0
			倫理学	2前・後		2							1
	教		教育学	2後		2			1				0
1	養		知の技法	2後		2							1
1	教		日本文化	1前		2							1
1	育		法学	1前・後		2							1
	科		経済学	1前・後		2		1	1		1		
	目群		社会学	1前・後		2							1
1	ΉΤ	社	地域連携講座	1後		2		1					
1		숲	日本国憲法	2前		2							1
			人権論	2後		2							1
			地域学	2前		2					1		
			日本経済	1後		2		1					
1			自然科学概論	1前		2							1
1		白	健康科学	1前・後		2					2		0
1			数学	1前・後		2		1			_		0
1		m	数子 環境科学	1後		2		-					1
1	-	F	^{環境科学} キャリアデザイン		1			-					
1	4	, J		1前・後 つ よに	2	_							1
1	7	P	キャリアプラン	2前		2							1
1	Æ E		インターンシップ	2通		2							1
1	君	ŧ	キャリアプラン実践	3後		2							1
1	Đ Đ	Ę Ż	スポーツ実技	1前・後		1					2		1
1	9	€	海外語学実習	2通		2		1			1		4
	看	4	海外社会実習	2通		2		1					0
L	E #	3	国内社会実習	2通		2		1			0		0

				配	į	单位数	女	車	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
'	ΔЛ			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
H			グローバル経済と生活	1前・後	118	175	Ш	1	1X	נוים	1		1브
			北九州学	1前・後	2			1					1
	基		ビジネスと簿記	1前・後		2					1		
	破土		ビジネスと法律	2前		2							1
	科目		プラン&プラクティス I	1後		2		2	2		4		3
	君		プラン&プラクティスⅡ	2前		2		2	2		4		3
			プラン&プラクティスⅢ	2後		2		2	2		4		3
			プラン&プラクティスⅣ	3前		2		2	2		4		3
			ミクロ経済学	1前・後	2						1		
			マーケティング論入門	1前・後		2		1					
			簿記論	1前・後		2			4		1		
			マネジメント入門マクロ経済学	1前・後 2前・後	2	2			1				
			地域経済論入門	2前・後	2			1	-		1		
			地方財政論	2前		2					'		1
			国際経済学入門	2前		2							1
			経済政策論	2前		2			1				
	基		人的資源管理論入門	2前		2		1					
	卓		会計学入門	2前		2		1					
	利 E		経営学	2前・後		2			1				
	君		地域と金融	2前・後		2			1				
			日本経済論	2前・後		2		1					
			財政学入門	2後		2			1				
			統計学入門	2後		2		1					
			労働経済学入門	2後		2					1		
			会計学	2後		2		1					
			経営組織論	2後		2		1					
			企業論入門	2後		2		1					
			外書講読 地域経済論	3前 3後		2		1					
専			経済学史	2前		2		<u>'</u>					1
菛			社会保障論	2前		2					1		'
教		経	国際金融論	2後		2			1				
育科			経済史	2後		2		1					
目		栓 済	経済数学	2後		2							1
		⊐	環境経済論	2後		2		1					
			国際経済学	2後		2							1
		ス	経済統計	3前		2		1					
			財政学	3前		2			1				
			アジア経済論	3前・後		2		1					
			労働経済学	3後		2					1		
			マーケティング論	2前		2		1					
			ビジネスプログラミング	2前		1		4					1
		紑	国際物流論	2後		2		1					
		性営	人的資源管理論 ビジネス実習	2後 2後		1		1					
	Π —	\Box	企業論	2版		2		1					
	ス	ース	44 =m A = 1	3前		2		<u> </u>			1		
	科目	$ \hat{\ }$	経営管理論	3後		2		1					
	群		ビジネスリーダーシップ論	3後		2			1				
			ビジネスケーススタディ	3後		2		1					
		地	地域づくり論	2前		2		1					
		域	地域政策論	2後		2					1		
		づく	都市経営論	2後		2					1		
		ij	地域づくり実習I	2通		2		2			1		
		Ţ	地域コミュニティ論	3前		2		1					
			地域調査法	3後		2		1			4		
			地域づくり実習Ⅱ	3通		2		1			1		
		餓光	観光概論 ホテルマネジメント論	2前		2		1					
		ビ		2前 2前		2		1					
		ジネ	観光ビジネス論	2街		2		1					
			観光マーケティング論	2後		2		1					
		_ -	ホスピタリティ・マネジメント	3前		2		1					
		ース	4m -1, -m -4- , 1	3後		2		1					
_		- 1		·^									

				配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
			グローバル経済と生活	1前・後	2			1			1		
	1	ŧ	北九州学 ビジネスと簿記	1前・後	2	0		1	4		•		1
	劯	楚	ビジネスと法律	2前		2		1	1		0		1
	乔 F	斗 ∃	プラン&プラクティス I	1後		2		0	3		1		2
		i 样	プラン&プラクティスⅡ	2前		2		0	2		1		2
			プラン&プラクティスⅢ	2後		2		0	3		1		2
			プラン&プラクティスIV	3前	•	2		2	2		4		3
			ミクロ経済学 マーケティング論入門	1後	2	2		1	1		0		1
			簿記論	1前・後		2		-	1		0		
			マネジメント入門	1前・後		2		1	1				
			マクロ経済学	2前・後	2				2				
			地域経済論入門	2前・後	2	_		1			1		
			地方財政論 国際経済学入門	2前 2前		2		1	1				0
			経済政策論	2前		2			1				•
		į.	人的資源管理論入門	2前		2		0	1				
	早	全 斗	会計学入門	2前		2		1					
	E	1	経営学	2前・後		2		4	1				
	君	羊	地域と金融 日本経済論	2前·後 2前·後		2		0	1				
			財政学入門	2後		2		1	0				
			統計学入門	2後		2		1					
			労働経済学入門	2後		2			1		0		
			会計学	2後		2		1					
			経営組織論	2後		2		0					1
			企業論入門 外書講読	2後 3前		2		1					
			地域経済論	3後		2		1					
専			経済学史	2前		2			1				0
門 教			社会保障論	2前		2					1		
育			国際金融論	2後		2		•	1				
科目		経	経済史 経済数学	2後 2後		2		0	1				0
Γ		<u></u>	環境経済論	2後		2		1					•
		Ι	国際経済学	2後		2			1				0
		ス	経済統計	3前		2		1					
			財政学	3前		2			1				
			アジア経済論 労働経済学	3前・後		2		1			1		
		-	カ側柱/月子 マーケティング論	3後 2前		2		1			-		
			ビジネスプログラミング	2前		1		1					0
		,	国際物流論	2後		2		1					
		経営	人的資源管理論	2後		2		0	1				
	7	\Box	ビジネス実習	2後		1		1					
	ス	ース	企業論 管理会計	3前 3前	-	2		1			1		
	科目	 ^	経営管理論	3後		2		1					
	群		ビジネスリーダーシップ論	3後		2			1				
			ビジネスケーススタディ	3後		2		1					
		_	地域づくり論	2前		2		1			1		
		域づ	地域政策論 都市経営論	2後 2後		2					0		1
		<	地域づくり実習 I	2通		2		1			1		'
		りコ	地域コミュニティ論	3前		2		1					
		Ι	地域調査法	3後		2		1					
		ス	2000 / / / / / /	3通		2		1			1		
		光		2前		2		1					
			ボテルマネンメント調 対人コミュニケーション論	2前 2前	-	2		1					
			観光ビジネス論	2後		2		1					
		スコ	観光マーケティング論	2後	L	2		1					
		Ι	ホスピタリティ・マネジメント	3前		2		1					
		ス	観光調査法	3後		2		1					

Г			配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
	区刀		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	ス		2前		2		-		не	- 22		1
	コーボー	スポーツ方法学	2後		2					1		
	_ "	スポーツと地域環境	2後		2		1					
	ース科メ	イベントプランニング(隔年開講)	2通		2		1			1		
	科メント	スポーツ社会学	3前		2							1
	群 7	スポーツ経堂学	3後		2					1		
	1 Z		3後		2							1
		ビジネスマナー	1前		2							1
		法学概論	1後		2							2
		民法総則	1後		2							1
#		憲法 I	1後		2							1
専門		憲法Ⅱ	2前		2							1
教	関	PC TOEIC Training I	2前		2							2
育	連	PC TOEIC Training I	2後		2							2
科日	科目	Advanced TOEIC I	2前		2							1
ľ	群	Advanced TOEIC II	2後		2							1
		ファシリテーション実践	2前		2							2
		国際社会学	2前		2							1
		国際政治学 I	3前		2							1
		国際政治学Ⅱ	3後		2							1
		国際法	3後		2							1
		専門演習 I	2前	2			11	4		4		
	演	専門演習 Ⅱ	2後	2			11	4		4		
	習	専門演習Ⅲ	3前	2			11	4		4		
	群	専門演習Ⅳ	3後	2			11	4		4		
		卒業研究	4通	4			11	4		4		
		バスケットボール	2前		1					1		
I		バレー	2前		1							1
	スポ	テニス	2前		1							1
特	ポー	バドミントン	2後		1							1
別	ッ	ジョギング・ウォーキング	2後		1							1
教	特	サッカー	2後		1							1
育	別	発育発達論	2後		2					1		
科日	教育	スキー(隔年開講)	2通		1					1		1
ľ	科	キャンプ(隔年開講)	2通		1					1		1
	目	体力トレーニング論	3前		2					1		
		レクリエーション実技	3後		1							1
		体育指導演習	3後		2							1

				配	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	7	۲ H²	コーチング論	2前		2					1		0
		1	スポーツ方法学	2後		2					1		
		7	スポーツと地域環境	2後		2		1					
	スタ	֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	イベントブランニング(隔年開講)	2通		2		1			1		
		٦	スポーツ社会学	3前		2							1
	群		スポーツ経営学	3後		2					1		
		z.	スポーツ心理学	3後		2							1
			ビジネスマナー	1前		2							1
			法学概論	1後		2							1
		ĺ	民法総則	1後		2							1
専		ĺ	憲法 I	1後		2							1
門門		ĺ	憲法Ⅱ	2前		2							1
教	関	ĺ	PC TOEIC Training I	2前		2							1
育	連科	ĺ	PC TOEIC Training I	2後		2							1
科日	目	ĺ	Advanced TOEIC I	2前		2							1
ľ	群	ĺ	Advanced TOEIC II	2後		2							1
		ĺ	ファシリテーション実践	2前		2							2
		ĺ	国際社会学	2前		2							1
		ı	国際政治学 I	3前		2							1
		ĺ	国際政治学Ⅱ	3後		2							1
			国際法	3後		2							1
			専門演習 I	2前	2			11	5		4		
	演	ĺ	専門演習 Ⅱ	2後	2			11	5		4		
	習	ĺ	専門演習Ⅲ	3前	2			11	4		4		
	群	ĺ	専門演習Ⅳ	3後	2			11	4		4		
		ĺ	卒業研究	4通	4			11	4		4		
			バスケットボール	2前		1					1		
		ĺ	バレー	2前		1					1		0
	ス	ĺ	テニス	2前		1					1		0
特	ポー	ĺ	バドミントン	2後		1							1
別	ッ	ĺ	ジョギング・ウォーキング	2後		1					1		0
教	特	j	サッカー	2後		1					1		0
育	別	ı	発育発達論	2後		2					1		
科日	教育	Ì	スキー(隔年開講)	2通		1					1		0
ľ	科	Ì	キャンプ(隔年開講)	2通		1					1		1
	目	İ	体カトレーニング論	3前		2					1		
		Ì	レクリエーション実技	3後		1							1
			体育指導演習	3後		2							1

【平成29年度】

				配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
			入門セミナーI	1前	2			8	5		2		1
		基	入門セミナーⅡ	1後	2			8	5		2		1
		礎	情報処理A	1前・後		1		1					1
		科目	情報処理B	1後		1							1
			アカデミックライティング I	1前		2		1					5
			アカデミックライティング I	1後	•	2		1	4				5
			英語Ⅰ	1前・後	2			1	1				7
			英語 Ⅱ 英語(リーディング)	1後	2	2		1	1				3
			英語(ライティング)	1前・後		2		2	1				2
			英語(日常英会話)	1前・後		2		1	•				3
	基		英語(ビジネス英会話)	1前・後		2		1					2
	幹		ドイツ語 I	1前・後		2							1
	教		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	育科		ドイツ語Ⅲ	2前		2							1
	目	外	中国語 I	前・後		2			1		1		1
	群	国語	中国語Ⅱ	1後		2			1		1		1
		和科	中国語皿	2前		2					1		
		目	韓国語I	1前・後		2		1					4
			韓国語Ⅱ	1後		2		1					4
			韓国語皿	2前		2							2
			インドネシア語 I	1前・後		2							2
			インドネシア語Ⅱ	1後		2							2
			インドネシア語皿	2前		2							1
			日本語 I 日本語 II	1前		2							1
			日本語皿	1後 2前		2							1
共			日本語Ⅳ	2後		2							1
通	-		学園史	1前		2		1					
教			哲学	1前		2		•					1
育科			日本史	1前		2							1
目			外国史	1前・後		2		1					
			日本文学	1前・後		2							1
		人文	心理学	1前・後		2							1
		^	外国文学	2前		2			1				1
			倫理学	2前・後		2							1
	教		教育学	2後		2			1				1
	養		知の技法	2後		2							1
	教		日本文化	1前		2							1
	育科		法学	1前・後		2		_					1
1	目		経済学	1前・後		2		2	0		1		
	群	Δ,	社会学	1前・後		2		4					1
			地域連携講座 日本国憲法	1後		2		1					1
		Д	人権論	2前 2後		2							1
			地域学	2版 2前		2					1		!
			日本経済	1後		2		1					
			自然科学概論	1前		2		-					1
1		自	健康科学	1前・後		2					1		1
1			数学	1前・後		2							1
			環境科学	1後		2							1
1	1	F	キャリアデザイン	1後	2								1
	- 1	J	キャリアプラン	2前		2							1
1	万 和	4	インターンシップ	2通		2							1
	E 君	ŧ	キャリアプラン実践	3後		2							1
1	9 ±	Ę	スポーツ実技	1前・後		1					1		2
1	9	€	海外語学実習	2通		2		1					2
	1	4	海外社会実習	2通		2		2					3
L	ŧ	Ť	国内社会実習	2通		2		2			1		2

			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
1	27)		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼扣
H		グローバル経済と生活	1前・後	2	1)(Щ	1	IX	וום	1	T	1보
		北九州学	1前・後	2			1					1
	基	ビジネスと簿記	1前・後		2			1		0		
	礎 科	ビジネスと法律	2前		2							1
	目	プラン&プラクティス I	1後		2		2	အ		1		3
	群	プラン&プラクティスⅡ	2前		2		2	2		4		3
		プラン&プラクティスⅢ	2後		2		2	2		4		3
		プラン&プラクティスⅣ	3前		2		2	2		4		3
		ミクロ経済学	1後	2	_			1		0		
		マーケティング論入門	1前・後		2		1	4		_		
		簿記論 マネジメント入門	1前・後		2			1		0		
		マクロ経済学	1後	2				1				
		地域経済論入門	2前・後	2			1			1		
		地方財政論	2前		2		•			<u>'</u>		1
		国際経済学入門	2前		2							1
		経済政策論	2前		2			1				
	基	人的資源管理論入門			2		1					
	幹	会計学入門	2前		2		1					
	科目	経営学	2前・後	L	2			1				
	群	地域と金融	2前・後		2			1				
		日本経済論	2前・後		2		1					
		財政学入門	2後		2			1				
		統計学入門	2後		2		1					
		労働経済学入門	2後		2					1		
		会計学	2後		2		1					
		経営組織論	2後		2		1					
		企業論入門 外書講読	2後 3前		2		1					
		地域経済論	3後		2		1					
専	7	経済学史	2前		2		<u>'</u>					1
門	7	社会保障論	2前		2					1		'
教		国際金融論	2後		2			1		<u> </u>		
育科	47	经这中	2後		2		1	-				
目	経済		2後		2							1
	=		2後		2		1					
		国際経済学	2後		2							1
	ス	`経済統計	3前		2		1					
		財政学	3前		2			1				
		アジア経済論	3前・後		2		1					
		労働経済学	3後		2					1		
		マーケティング論	2前		2		1					
		ビジネスプログラミング	2前		1		-					1
	縚	国際物流論	2後		2		1					
	堂	ドジネス宝型	2後 2後		1		1					
	Ī	しノホハ天日	2饭3前		2		1					
		管理会計	3前	1	2		l			1		
	^	経営管理論	3後		2		1			<u> </u>		
		ビジネスリーダーシップ論	3後		2		Ė	1				
		ビジネスケーススタディ	3後		2		1					
	拙	地域づくり論	2前		2		1					
	垣	地域政策論	2後		2					1		
	1		2後		2					1		
	IJ	地域つくり美省Ⅰ	2通		2		2			1		
		│ 地域コミュニティ論	3前		2		1					
			3後		2		1			<u> </u>		
	_	地域づくり実習Ⅱ	3通		2		1			1		
	街光	観光概論	2前		2		1					
	Ľ	The state of the s	2前	-	2		1					
	ジネ		2前 2後		2		1					
	イス		2後	-	2		1					
	7	ECCL 7717	3前		2		1					
	I	60 d0 d	3後	1	2		1					
ш		1.707 UP 7 A	マ汉				<u> </u>					

				配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
	四 刀			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		スポ	コーチング論	2前		2							1
	\Box	ポーッ	スポーツ方法学	2後		2					1		
		フマネジ	スポーツと地域環境	2後		2		1					
	ス科	4ジ	イベントプランニング(隔年開講)	2通		2		1			1		
	目	メント	スポーツ社会学	3前		2							1
	群	⊢ □ ⊢	スポーツ経営学	3後		2					1		
		I ス	スポーツ心理学	3後		2							1
			ビジネスマナー	1前		2							1
			法学概論	1後		2							1
			民法総則	1後		2							1
_			憲法 I	1後		2							1
専門			憲法Ⅱ	2前		2							1
教	艮		PC TOEIC Training I	2前		2							2
育	追		PC TOEIC TrainingII	2後		2							2
科日	科目		Advanced TOEIC I	2前		2							1
l	郡		Advanced TOEIC II	2後		2							1
			ファシリテーション実践	2前		2							2
			国際社会学	2前		2							1
			国際政治学 I	3前		2							1
			国際政治学Ⅱ	3後		2							1
			国際法	3後		2							1
			専門演習 I	2前	2			11	4		4		
	洹	Ę	専門演習 Ⅱ	2後	2			11	4		4		
	翟		専門演習Ⅲ	3前	2			11	4		4		
	君	ŧ	専門演習Ⅳ	3後	2			11	4		4		
			卒業研究	4通	4			11	4		4		
			バスケットボール	2前		1					1		
			バレー	2前		1							1
	7		テニス	2前		1							1
特	7 		バドミントン	2後		1							1
別	"		ジョギング・ウォーキング	2後		1							1
教	特		サッカー	2後		1							1
育	另		発育発達論	2後		2					1		
科目	教育		スキー(隔年開講)	2通		1					1		1
ľ	科		キャンプ(隔年開講)	2通		1					1		1
	Ė		体カトレーニング論	3前		2					1		
			レクリエーション実技	3後		1							1
			体育指導演習	3後		2							1

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字</u>としてください。

 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ <u>1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入</u>してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度) の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

- ・職位変更及び時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授8」、「助教5」から「助教2」、 「兼任・兼担8」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・職位変更及び時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナ-Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授8」、「助教5」から「助教2」、 「兼任・兼担8」から「兼任・兼担1」に変更。

- ・時間割編成における担当者の変更により、「情報処理B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語 I 」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語 I 」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担8」から「兼任・兼担7」に変 更
- ・時間割編成における担当者の変更により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担8」から「兼任・兼担7」に変 更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(リーディング)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担4」から「兼任・兼担 3」に変更
- ・・時間割編成における担当者の変更により、「英語(ライティング)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(日常英会話)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担2」から「兼任・兼 担31 に変更
- ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(ビジネス英会話)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・時間割編成における開講期別の追加により、「ドイツ語 I 」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「ドイツ語 I 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「ドイツ語 I 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。

- ・時間割編成における担当者の変更により、「ト 17語Ⅱ」の専仕教員寺の配直を「末
 は、末
 に」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「中国語 I 」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「韓国語 I 」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語 I 」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語 I 」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「対7語 I 」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「学園史」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「学園史」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・職位変更及び時間割編成における担当者の変更により、「経済学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授0」に 変 更
- ・職位変更により、「ビジネスと簿記」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・職位変更及び時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラウティスⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教4」から 「助教1」に変更。
- ・時間割編成における開講期別の追加により、「ミクロ経済学」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。

- ・時間剖編成における開講期別の追加により、「ミンル経済学」の配当年次を「T削・俊」がら「1復」に変更。 ・職位変更により、「ミンn経済学」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・職位変更により、「簿記論」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・時間割編成における開講期別の追加により、「マネジメット入門」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「法学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。

- 【平成30年度】 ・専任教員辞任による後任補充及び時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授5」、「准教 「助教2」から「助教4」、 授5」から「准教授6」、「助教2」から「助教4」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・専任教員辞任による後任補充及び時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授5」、「准教授5」から「推教授6」、「助教2」から「助教4」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・専任教員学科移籍により、「情報処理A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・専任教員学科移籍により、「情報処理B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼担1」から「教授2」に変更。
 ・専任教員学科移籍及び担当者の追加により、「アカデミックライティングⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
 ・専任教員学科移籍及び担当者の追加により、「アカデミックライティングⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授 1」から「准教授0」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授 1」から「本授0」に変更。 授5」から「准教授6」 「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。 21 に変更 2」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(ライティング)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「ドイツ語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「中国語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「中国語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「韓国語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語Ⅱ」の再任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における開講期別の追加により、「インドネシア語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「日本語 I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「日本語 I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「日本語 II」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「外国史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「外国文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「教育学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充及び時間割編成における担当者の変更により、「経済学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」 から「准教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「健康科学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」、「兼任・専任教員学科移籍により、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。 「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。 ・時間割編成における開講期別の追加により、「キャリアデザイン」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更・専任教員学科移籍により、「スポーツ実技」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」、「兼任・兼担2 「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における担当者の追加・変更により、「海外語学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「兼任・兼担2」から「兼任・兼 担3」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「海外社会実習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担0」 に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「国内社会実習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教1」から「助教0」、「兼任・兼 担2」から「兼任・兼担0」に変更。 21 に変更 ・時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラクティスⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「助教4」から「助教1」、「兼任・ 兼担3」から「兼任・兼担2」に変更 ・時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラクティス皿」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「准教授2」から「准教授3」、「助 教4」から「助教1」、 「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「ミワレ経済学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における開講期別の追加により、「マネジメント入門」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、 「マネジメント入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「マ加経済学」の専任教員等の配置をの「准教授1」から「准教授2」に変更。 ・兼任教員辞退による担当者の変更により、「地方財政論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「国際経済学入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、 「人的資源管理論入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・職位変更により、「地域と金融」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、 「日本経済論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・職位変更により、「財政学入門」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・職位変更により、「労働経済学入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「雑教授1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「経営組織論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「経済学史」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「経済学史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、 「経済数学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「国際経済学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「国際経済学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「ピジネスプログラミング」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「人的資源管理論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・専任教員辞任による後任補充における担当者の変更により、「都市経営論」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「地域づくり実習 I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「地域づくり実習 I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 ・専任教員学科移籍により、「コーチング論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「助教1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「PC TOEIC Training I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「PC TOEIC Training II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「専門演習 I 」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に変更。 ・専任教員学科移籍により、 「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に変更。 「パレー」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「助教1」に変更。 「テニス」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「助教1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、 専任教員学科移籍により、
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

・専任教員学科移籍により、「ジョギング・ウォーキング」の専任教員等の配置を「兼任・兼担」」から「助教1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「サッカー」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「助教1」に変更。

・専任教員学科移籍により、「スキー」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。

(2) 授業科目数

Ī		設置	時の計画			変更∜	 大況		備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	州
•	15 科目	147 科目	0 科目	162 科目	15 科目 [0]	147 科目 [0]	0 科目 [0]	162 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	l O
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	162	_		- /

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分					内							容					備考
(1)		区	分			専	用		共	用			用する !校等の					計		
校		校舎	き敷 地	<u>ե</u>		40	, 020. 13 m	î		-	m²			_	m²		4	40, 02	0.13 m	九州国際大学付属高等
		運動	場用地	ļ		20	, 199. 26 m	Î	4	48, 195. 00	m			_	m²		(68, 39	4. 26 m	化 在 尺
地		小	計	-		60	, 219. 39 m	Î	4	48, 195. 00	m²			_	m²		10	08, 41	4. 39 m	
等		そ	の他	ļ.		5	, 614. 82 m	Î			m [*]			_	m²			5, 61	4. 82 m	(36, 363 m²)
ф		合	計	-		65	, 834. 21 m	Î	4	48, 195. 00	m		四十 7	— ルの	m²		11	14, 02	9. 21 m	î de la companya de
						専	用		共	用			用する !校等の					計		
(2) 校			舎			29	, 852. 08 m	Î		_	m			_	mi		2	29, 85	2.08 m	î d
					(29, 85	52.08 m ²)	(– m³)		(-	– m²)		(29,	852. 0	08 m [*])	
				講	義	室	演	習室	Ē	実験乳	室留写		情報处	0.理学習	習施設		語学	学習		
(3) 教		室	等			37 室	<u> </u>		18 室			1 室			4 3					大学全体
													(補助	職員	1 人)			職員	- 人)	
(4) 恵	任教	7員研究	字	•			新設学部	『等の	名称					室			数			平成30年4月 - 専任教授1名、専任准教
(4) 5	工教	気切れ	· 王			現代日	ビジネス学	部址	也域経済	斉学科					3				室	授1名、専任助教1名を学 科移籍のため(30)
				[3	₹ :	書	学術	う雑誌					視聴覚	1 咨判	機切	↓・器	. 🖪	標	本	
(5)	栽	新設学部 の名和		〔う	ち外国	書]	〔うち	外国書	書〕	電子ジャ	ァーナ	ル	ול מוריותו	E 52.17	1821/	• пп	~	775	·	大学全体での共用分
						III			種	〔うちタ	書国	:)		点			点		点	(学術雑誌 - <mark>2, 192</mark> 〔338〕
				170, 3	05 [2	3, 498]	1,	370 (368 (368 (368 (368 (368 (368 (368 (368	302]		43 [34 [1, 203		_			_	2, 191 (338) 2, 190 (338)
図書	現代	ቲビジネ	ス学部	(168, 39	97 [23	i, 054])		3 63 (; 70 (3)		(43 [4		(1, 160)						電子ジャーナル 5 (5)
設						, 012)) , 006))		68 (3) 63 (3)			34 [3			1, 155) 1, 153)	(_)	(-)	4 (4) 3 (3)
備				170, 3	05 (2	3, 498]		370 (3			43 (34 (1, 203		_			_	ー 新規購入による増加の
		計		(168, 39	97 [23	i, 054])	1	3 63 (3	3011	(34 ر 43 (4		(1, 160)						ため (29) (30)
						, 012]) , 006])		<mark>68</mark> [3 63 [3			34 (3			1, 155) 1, 153)	(-)	(-)	
(6) 図		書	館		面		積			閲覧座	医席	数		収	納	可	能	₩	数	
.0, 2		J					4, 346. 02	2 m²		33	33					540,	, 000			- 大学全体
(7) 体		育	館		面		積				体育的	館以タ	トのスポ	ポーツ旅	設の	概要				
(1) +		P	ип				3, 949. 94	1 m²		武道	鱼場				7	テニス	. = -	-		
		経費	Z	Σ	分		開設年度	完	成年度	区	分	}	開設前		開	設年原	度	完月	战年度	# C 7 T C T
(8)			教員 1	人当り	研究	費等	198千円		198千	·円 図書	購入	費	13, 73	37千円	13,	737∃	f円	13,	737千円	□共同研究費等 □大学全体
経費の積り及			共 同	研 3	費	等	1,900千円	1	, 900 T	·円 設備	購入	費	2, 64	40千円	1,	700∃	千円	1,	757 千 円	_
維持方 の 概		学生 1		第	1 年次	:	第2年次		第	3年次	穿	第4年	次	第	5 年》	<u></u>		第64	年次	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費
		納付			980	千円	880-	千円		880千円		88	30千円		_	千円			- 千円	」(運用コスト含む)を含し む
		学生:	納付金	以外の約	推持方	法の概	要私ご	Z大学	等経常	費補助金、	施設	設備	利用料	収入、緯	進収力	、等				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	九	州	玉	際	大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編定	学員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	f 在	地		
	年		人	4	年次		人		倍						
≪ A C対象学部等≫ 法学部					人										
法律学科	4		150	-	-		660	学士	0. 87	昭和25年原	福岡県海野田	化九州市 丁目6番	5八幡東区 1号		
現代ビジネス学部 地域経済学科	4		250	_			500	学士(経済学)	1. 15	平成29年月	.	同上			
								学士							
<u>国際社会学科</u>	4		100	-	-		200	(国際社会 科学)	1. 09	平成29年月	ŧ	同上	-		
経済学部															
経済学科	4	-	-	-	-	-	-	学士	-	平成6年月	Ę	同上	-	平成29年 募集停止	より学生
経営学科	4	-	-	-	-	-	-	学士	-	平成6年月	Ę	同上	_	平成29年 募集停止	より学生
国際関係学部国際関係学科	4			_	_	_	_	学士		平成17年	F	同上		平成29年	
四际场际于行	7							(国際 関係学)		1 100 17 7-15		1+1 -1-	•	募集停止	
法学研究科 法律学専攻	2		10	_	_		20	修士 (法律学)	0. 90	平成8年月	Ę	同上	<u>'</u>		
企業政策研究科企業政策専攻	2		10	_	_		20	修士	0. 15	平成13年	++	同上			
止未以农守以	2		10	_	=		20	(企業 政策)	0. 10	一成い年		巾工	•		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代ビジネス学部 地域経済学科>

(1)一① 担当教員表

【認可	可時又	は届出時】	【平成	t 29:	年度】		【平瓦	t30:	年度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	男 (54) (54) 《平成29年4月> 入門セミナー I 日本の 1 「	車	教授	男演 (54) (54) <平成29年4月> 入門セミナーI 国際物流論 イベルンジンニング [編年] 専門門演習習 I 専門門演習習 II 専門門演習で		専	教授	男漢 (55) 《下成29年4月> 入門セミナー I 入門性を表示 に 「
専	教授	西山 茂 (51) 茂 (751) ス	争	教授	西山 茂 (51) (51) 〈平成29年4月〉 情報処理 A アカデミックライティング I アカデミックライティング I アカデミックライティング II 外書講読		専	教授	西山 茂 (52) < 平成29年4月> 情報処理A アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本経済 外書講読
專	教授	中	串	教授	字都(44) <平成29年4月> ト国文学のでは、「中域29年4月> ト国文学のでは、「中域29年4月> ト国文学のでは、「中域29年4月> ト国文学のでは、「中域29年7年ス」「「フランシをできる。」では、「中域29年7年ス」「「中域29年7年では、19年7年では、19年7年には、1				
							\$	准教授	川脇 (44) (34) (34) (34) (34) (34) (47) (34) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (4
専	教授	山口 (55) (55) (7年4月> 円 セミナナーⅡ 円 セミナナーⅡ 所済計済が調査管理 所済計済が調査管理 所で調査管理 原東門門演演管理 原東門門演演で	毒	教授	山口 秋義 (55) <平成29年4月> 経統計學入門 経統計婚額資習Ⅱ 専専門演演習習Ⅲ 専専門門演習習Ⅳ 幸等時間報研究	-	唐守	教授	山口 (56) (56) (7年年月> 八門セミナーⅡ 八門セミナーⅡ 統計学計算 統計学計算 統計等 が調査習Ⅱ 東専門河演習習Ⅲ 東専門門湾資習Ⅳ 東京門湾資
専	教授	野村 改修 (58) 《平成字4月> 入門セミナーⅡ 地域・大田・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	教授	野村 政修 (58) (58) (78) (58) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (7		専	教授	野村 政修 (59) 〈平成29年4月〉 学歴史 地域連携講座 グログローバル経論 グログを アンと地域環境 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I マーア・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・ア

亩丘・	ı	1	本バ		1	事 /*	. 1	T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	L		担当授業科目名			担当授業科目名
		崔 錦珍			崔 錦珍			崔 錦珍
		(50) <平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー II			(51) 〈平成29年4月〉			(52) <平成29年4月> 韓国語 I
専	教授	海外社会論 親光概マネジメント論 観光でである 観光でである 関連では 関連で 関連で 関連で 関連で 関連で 関連で 関連で 関連で 関連で 関連で	専	教授	韓国語 森外社会実 る例と概念の を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を	専	教授	韓国語 I 海外社会実 観光概な会実 観光概なる 東門では 東門門演演習 I 東門門演習 I 東門門演習 I 東門で 東門で 東門で 東門で 東門で 東門で 東門で 東門で 東門で 東門で
		福島(森)規子 (54)			福島(森)規子 (54)			福島(森)規子 (55)
専	教授	(399年4月>)	専	教授	《平成29年4月> 〈平成29年4月> 入門セミナーⅡ 入門セミナーⅢ 国内社会宝ケーション論 観光ビジネス論 ホスとリティ・マネジメント 専門門演習Ⅲ 専門門演習Ⅲ 専門門演習Ⅲ 専門所演習Ⅲ 専門所演習Ⅲ 専門所演習Ⅲ 卒業研究	専	教授	マ成29年4月>
		三輪 仁 (45)			三輪 仁 (45)			三輪 仁 (46)
		<平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I 入門セミナー I 北九州学 ブラン&ブラクティス I			<平成29年4月> 入門セミナーI 入門セミナーI 北九州学 ブラン&ブラクティスI ブラン&ブラクティスI ブラン&ブラクティスI ブラン&ブラクティスI ブラン&ブラクティスI ブラン&ブラクティスI ブラン&ブラクティスII			<平成29年4月> 北九州学 ブラン&ブラクティスⅣ
専	教授	地域経済 地域経済 協論 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国	専	教授	地域経済 地域経済 地域域域づつで 地域域域では では では では では では では では では では	専	教授	地域経済論入門 地域経済論 地域域づくりュニティ 地域域づくりュニテア 専門門演習習I 専専門門演習習IV 卒業で変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変変
		進 美喜子 (61)			進 美喜子 (61)			進 美喜子 (62)
専	教授	< 平成29年4月> 入門セミナーⅡ 入門 セミナーⅡ 会計学学習Ⅱ 専門門演演習Ⅲ 専門門演演習Ⅳ 卒業	専	教授	<平成29年4月> 会計学入門 会計学演習 I 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅲ 卒業研究	専	教授	< 平成29年4月> ビジネスと簿記 会計学 会計学 専門演演習 I 専門演習習 I 専門演演習習 I 専門演演習 I 専門演演習 I 専門演演習 I 専門演演習 I
		中間 信博 (52)			中間 信博 (53)			中間 信博 (54)
専	教授	< 平成29年4月> 入門セミナーⅡ 九企業・大門 大企業・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	専	教授	〈平成29年4月〉 入門セミナーI 入門セミナーI 入企業論 人と表し、大門 登・20年 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第四次 第四次 第四次 第四次 第四次 第四次 第四次 第四次 第一次 第一次 第四次 第	専	教授	< 平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I 入門をミナー I 人門を言うと 、
		村上 真理 (54)			村上 真理 (54)			村上 真理 (55)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
専	教授	入門セミナー I 入門セミナー II	専	教授	入門セミナー I 入門セミナー II	専	教授	国内社会実習マネジメント入門
4	3018	マーケティング論入門 マーケティング論 専門演演習II 専門演演習II 専門演演習IV 卒業研究	¥	3018	マーケティング論入門 マーケティング論 専門演習II 専門演習II 専門演習IV 卒業研究		2012	マーケティング論入門 マーケティング論 専門演習 I 専門演習 I 専門演習IV 専門演習で 専門演習で
			-	-			•	•

= /r			# 17		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	また		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		(46) <平成29年4月>			(46) 〈平成29年4月〉			
		入門セミナーI			入門セミナーI			
		入門セミナーⅡ 人的資源管理論入門			入門セミナー II 人的資源管理論入門			
専	教授	経営組織論 人的資源管理論	専	教授	経営組織論 人的資源管理論			
		経営管理論 専門演習 I			経営管理論 専門演習 I			
		専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ			専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ			
		専門演習Ⅳ 卒業研究			専門演習Ⅳ 卒業研究			
								仙波 亮一 (43) <平成30年4月>
								入門セミナー I 入門セミナー I
						專	准教授	人的資源管理論入門 人的資源管理論
						1	- TO JA	たい 見ぶ 音 2 論 経営管理論
								専門演習皿
								専門演習Ⅳ 卒業研究
								小江 茂德
						兼任	講師	(39) <平成30年4月>
								経営組織論
		伊東 美津 (59)			伊東 美津 (60)			伊東 美津 (61)
		<平成29年4月> 英語 I			<平成29年4月> 英語 I			<平成29年4月> 英語 I
専	教授	英語 Ⅱ 英語(リーディング)	専	教授	英語Ⅱ	専	教授	英語 Ⅱ 英語(リーディング)
		英語(ライティング)			英語(ライティング)			日本語I
		福西和幸			福西和幸			福西 和幸
		(45) <平成29年4月>			(45) <平成29年4月>			(46) <平成29年4月>
		英語 I 英語 Ⅱ						英語 I 英語 II
専	教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング)	専	教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング)	専	教授	X
					英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会話)			英語 (日常英会話) 英語 (ピジネス美会話)
		海外語学実習 海外社会実習			海外語学実習 海外社会実習			海外語学実習 海外社会実習
		江本 伸哉 (60)			江本 伸哉 (60)			
専	教授	〈平成29年4月〉 日本経済	専	教授	〈平成29年4月〉 日本経済			
		日本経済論 アジア経済論			日本経済論アジア経済論			
		12277			7-12-29 ; pins			牧 和生 (32)
								<平成30年4月>
						専	准教授	入門セミナーI 入門セミナーI
								経済学 マクロ経済学 ロ大経済験
		楊 川	-		楊川			楊川
		(34) <平成29年4月>			(34) <平成29年4月>			(35) <平成29年4月>
専	准教授	入門セミナー I 入門セミナー I	専	准教授	入門セミナー I 入門セミナー II	専	准教授	
		中国語 I 中国語 I			中国語 I 中国語 I			中国語 I 中国語 II
		教育学			教育学			教育学
		上坂 豪 (46)			上坂 豪 (47)			上坂 豪 (48)
		<平成29年4月> 入門セミナー I			<平成29年4月> 入門セミナー I			<平成29年4月>
		入門セミナーⅡ 経済学			入門セミナーⅡ			経済学
専	准教授	地域と金融 国際金融論	専	教授	地域と金融 国際金融論	専	教授	地域と金融 国際金融論
		専門演習 I 専門演習 II			専門演習 I 専門演習 I			専門演習 I 専門演習 I
		専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 在業研究			専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 充業研究			専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
		卒業研究 藤 貴子	-		卒業研究 藤 貴子			卒業研究 藤 貴子
		(43) <平成29年4月>			(43) <平成29年4月>			(44) <平成29年4月>
		入門セミナーI			入門セミナーI			入門セミナーI
		入門セミナーⅡ 経済学 財政学 ス 即			入門セミナーⅡ 経済学 財政党 ス 即			入門セミナーⅡ
専	准教授	財政学入門 財政学	専	教授	財政学入門 財政学	専	教授	財政学入門 財政学 地方財政論
		専門演習 I 専門演習 II			専門演習 I 専門演習 II			地力財政闘 専門演習 I 専門演習 I
		専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ			専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ			専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
L		卒業研究		L	卒業研究			卒業研究
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	-		-		

専任・	1		F	専任・			7	5任・		
兼担・		氏 名		兼担・		氏 名		き担・		氏 名
兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>		兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>		東任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
の別			l J	の別			σ	D別		
		担当授業科目名	IJ	_		担当授業科目名	L			担当授業科目名
		藤野 義和 (39)	IJſ			藤野 義和 (40)				藤野 義和 (41)
		(39) <平成29年4月>				(40) <平成29年4月>				(41) <平成29年4月>
		入門セミナー I				入門セミナー I				入門セミナー I
		入門セミナー II プラン&プラクティス I				入門セミナー II ブラン&プラクティス I				入門セミナー II プラン&プラクティス I
		ブラン&ブラクティスⅡ				プラン&プラクティスⅡ				ブラン&ブラクティスⅡ
専	VH ±U-1=0	プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ		車	₩₩ ₩	プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ		車	VH ±41-100	プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ
导	准教授	マネジメント入門		导	准教授	マネジメント入門		号	准教授	マネジメント入門
		経営学				経営学				経営学
		ビジネスリーダーシップ論 専門演習 I				ビジネスリーダーシップ論 専門演習 I				ビジネスリーダーシップ論 専門演習 I
		専門演習 Ⅱ				専門演習 Ⅱ				専門演習 Ⅱ
		専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ				専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ				専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
		卒業研究				卒業研究				卒業研究
		天龍 洋平	lļ			天龍 洋平				天龍 洋平
		(32) <平成29年4月>	IJ			(32) <平成29年4月>				(33) <平成29年4月>
1			IJ							
		入門セミナー I 入門セミナー II	IJ			入門セミナー I 入門セミナー II				入門セミナー I 入門セミナー II
1		プラン&プラクティス I				プラン&プラクティス I				プラン&プラクティス I
۱		プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ				プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ				プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ
専	准教授	ブラン&プラクティスⅣ	IJ	専	准教授	プラン&プラクティスⅣ		専	准教授	プラン&プラクティスⅣ
		マクロ経済学 経済政策論				マクロ経済学 経済政策論				マクロ経済学 経済政策論
		専門演習 I				専門演習 I				専門演習 I
		専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ				専門演習 Ⅱ 専門演習Ⅲ				専門演習 Ⅱ 専門演習Ⅲ
		専門演習Ⅳ				専門演習Ⅳ				専門演習Ⅳ
		卒業研究				卒業研究				卒業研究
		池田景子	ŀ			池田 景子				池田景子
		(35) <平成29年4月>				(35) <平成29年4月>				(36) <平成29年4月>
1										
専	准教授	英語 I 英語 Ⅱ		専	准教授	英語 I 英語 II		専	准教授	英語 I
		英語(リーディング)	IJ			英語(リーディング)				英語(リーディング)
		英語(ライティング) 外国文学	IJ			英語(ライティング) 外国文学				英語(ライティング) 外国文学
		田鹿 紘	J			田鹿 紘	H			田鹿 紘
		(32)	IJ			(32)				(33)
		<平成29年4月>	IJ			<平成29年4月>				<平成29年4月>
		入門セミナー I 入門セミナー II	IJ			入門セミナー I 入門セミナー II				入門セミナー I 入門セミナー II
		経済学	IJ			経済学				経済学
1		グローバル経済と生活	IJ			グローバル経済と生活 プラン&プラクティス I				グローバル経済と生活 プラン&プラクティス I
専	助教	プラン&プラクティス I プラン&プラクティス Ⅱ	IJ	専	助教	フラン&フラクティスⅡ		専	助教	プラン&プラクティスⅡ
		プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ	IJ			プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ				プラン&プラクティスⅢ ブラン&プラクティスⅣ
		社会保障論	IJ			社会保障論				社会保障論
		専門演習 I 専門演習 Ⅱ				専門演習 I 専門演習 Ⅱ				専門演習 I 専門演習 Ⅱ
		専門演習Ⅲ	IJ			専門演習Ⅲ				専門演習Ⅲ
		専門演習Ⅳ 卒業研究	IJ			専門演習Ⅳ 卒業研究				専門演習Ⅳ 卒業研究
		木下 温子				木下 温子	-			木下 温子
		(43)	IJ			(43)				(44)
		<平成29年4月>	IJ			<平成29年4月>				<平成29年4月>
		入門セミナー I 入門セミナー II	IJ							入門セミナー I 入門セミナー II
		健康科学	IJ			健康科学				健康科学
		スポーツ実技	IJ			スポーツ実技				スポーツ実技
	D# +/L	スポーツ方法学	IJ		D4.+/L	スポーツ方法学			D4. +/L	スポーツ方法学 イベントブランニング [隔年]
専	助教	スポーツ経営学	IJ	専	助教	スポーツ経営学		専	助教	八小 /柱占于
		バスケットボール	IJ			バスケットボール				バスケットボール
		発育発達論	IJ			発育発達論				サッカー 発育発達論
		スキー 【隔年】	IJ			スキー 【隔年】				
		キャンプ 【隔年】 体カトレーニング論				キャンプ 【隔年】 体カトレーニング論				キャンプ 【隔年】 体カトレーニング論
			IJ			= / 1m				専門演習 I
			ı L				L			専門演習Ⅱ

専任・			専任・			亩红.	1	
寺世・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	乗担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		西山 弘泰 (33) <平成29年4月>						
曲守	助教	人門・日本 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I						
		専門演習Ⅳ 卒業研究						
					集烟 恭介 (35) 〈平成29年4月〉 入門セミナー I 入門セミナー I 地域学 国内社会実習 プラン&プラクティス I ブラン&プラクティス I			乗畑 恭介 (36) <平成29年4月> 入門セミナーI 入門セミナーI 地域学 国内社会実習
			*	助教	プラン&プラウティスII プラン&プラクティスIV 地域形式 地域が近り突習 I 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 IV 卒業研究	*	助教	ブラン&ブラクティスN 地域経済論入門 地域が交くり実置 I 地域づくりり実置 I 専門演習 I 専門演習 II 専門で表習 I 平 専門で表記で
								荒田 英知 (55) <平成30年4月>
						兼任	講師	都市経営論
		田尻 敬昌			田尻 敬昌			田尻 敬昌
車守	助教	(34)	専	准教授	(34) (34) (34) (34) (34) (34) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (8) (8) (9) <th>専</th> <td>准教授</td> <td>(35) (35) (35) (35) (36) (47) (57) (57) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (68) (78)<!--</td--></td>	専	准教授	(35) (35) (35) (35) (36) (47) (57) (57) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (68) (78) </td
		専門演習Ⅳ 卒業研究			専門演習Ⅳ 卒業研究			専門演習Ⅳ 卒業研究
唐守	助教	山本 雄三 (38) (38) (38) (38) (38) (38) (39年4月) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (4	専	准教授	山本 雄三 (38) (38) (38) (38) (39年4月) (39年4月) (79年4月) (7	専	准教授	山本 雄三 (39) 《平成29年4月》 《平成29年4月》 ジラン&ジラクティスⅣ ジラクロ経済学学 門海経済学学 門海渡習 I 専門門演習習 I 専専門門演習習 I 専専門門演習習 I
		学来研究 橋本 愛 (35)			年来研究 橋本 愛 (35)			学来研究 橋本 愛 (36)
専	助教	<平成29年4月> 中国語 I 中国語 I 中国語Ⅲ	専	助教	<平成29年4月> 中国語 I 中国語 I 中国語 II	専	助教	<平成29年4月> 中国語 I 中国語 Ⅱ 中国語 Ⅲ 中国語 Ⅲ 海外語学実習
兼担	教授	正代 隆義 (55) <平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I 情報処理A 情報処理B アカデミックライティング I アカデミックライティング I	兼担	教授	正代 隆義 (55) <平成29年4月> 情報処理A 情報処理B アカデミックライティングI アカデミックライティングI	専	教授	正代 隆載 (56) 《平成30年4月》 情報処理 A 情報処理 B アカデュックライティング! アカデュックライティング! アカデュックライティング!
		数学 経済数学 ビジネスプログラミング			数学 経済数学 ビジネスプログラミング			サンプライティング 数学 経済数学 ビジネスプログラミング

				,				
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		松井 貴英 (46) <平成29年4月>			松井 貴英 (46) <平成29年4月>			松井 貴英 (47) <平成29年4月>
兼担	教授	入門セミナー I 入門セミナー II アカデミックライティング I アカデミックライティング II 学園史	兼担	教授	アカデミックライティング I アカデミックライティング Ⅱ	兼担	教授	アカデミックライティング I アカデミックライティング II
		子風史 哲学 倫理学 プラン&ブラクティス I プラン&プラクティス I			哲学 倫理学 プラン&プラクティス I プラン&プラクティス I			哲学 倫理学 ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I
		ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ 青木 美樹			ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ 青木 美樹			ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ 青木 美樹
		(60) <平成29年4月> 入門セミナーI 入門セミナーⅡ			(60) <平成29年4月>			(61) <平成29年4月>
兼担	教授	中国語 I 中国語 II ブラン&プラクティス I ブラン&ブラクティス II	兼担	教授	中国語 I 中国語 II ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II	兼担	教授	中国語 I 中国語 II
		プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ 大形 里美 (51)			ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ 大形 里美 (51)			ブラン&プラクティスⅣ 大形 里美 (52)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼担	教授	入門セミナー I 入門セミナーⅡ インドネシア語 I インドネシア語 Ⅱ	兼担	教授	インドネシア語 I インドネシア語 II	兼担	教授	インドネシア語 I インドネシア語 II <mark>インドネシア語Ⅲ</mark>
		中野 洋一 (63)(高) <平成29年4月>						
兼担	教授	入門セミナー I 入門セミナーⅡ 国内社会実習 国際経済学入門 国際経済学						
					大津 健登 (35) <平成29年4月>			大津 健豊 (36) 〈平成30年4月〉
			兼担	准教授	韓国語 I 韓国語 I 国際経済学入門 国際経済学	専	准教授	韓国語 I 国際経済学入門 国際経済学 アジア経済論 専門法習 I
		西村 成樹 (55)			西村 成樹 (55)			専門演習 Ⅱ 西村 成樹 (56)
兼担	教授	<平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本文学	兼担	教授	<平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本文学	兼担	教授	<平成29年4月> アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ 日本文学
		日本文化 島浦 一博 (62)			日本文化 島浦 一博 (62)			日本文化 島浦 一博 (63)
兼担	教授	<平成29年4月> ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅲ	兼担	教授	<平成29年4月> ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 II	兼担	教授	<平成29年4月> ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅲ
,		島浦 一博 (65) <平成32年4月>						
兼任	講師	ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語Ⅲ			10 **			- **·
		呉 珠熙 (47) <平成29年4月> 韓国語 I			呉 珠熙 (47) <平成29年4月> 韓国語 I			呉 珠熙 (48) <平成29年4月> 韓国語 I
兼担	教授	韓国語Ⅱ 韓国語Ⅲ 日本語Ⅱ 日本語Ⅱ	兼担	教授	韓国語 II 韓国語 II 日本語 I 日本語 II	兼担	教授	韓国語 II 韓国語 II 日本語 I 日本語 II
		藤勝宣						海外語学実習
兼担	教授	(57) <平成30年4月> 教育学						
		鈴木 博康 (46)			鈴木 博康 (47)			鈴木 博康 (48)
兼担	教授	<平成29年4月> 法学	兼担	教授	〈平成29年4月〉 法学	兼担	教授	<平成29年4月> 法学
**1"	44E.1=4	木村 貴 (46) <平成30年4月>				-Mr 10	#L1~	木村 貴 (46) <平成30年4月>
兼担	教授	人権論 国際法			+m / 5:0	兼担	教授	人権論 国際法
兼担	教授	太田 かおり (43) <平成30年4月>	兼担	教授	太田 かおり (42) <平成29年4月>	兼担	教授	太田 かおり (43) <平成29年4月>
		海外社会実習			英語(ライティング) 海外社会実習			英語(ライティング)

	,			1			1	1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	教授	櫻井 弘晃 (51) <平成29年4月> 法学概論 民法総則	兼担	教授	櫻井 弘晃 (51) <平成29年4月> 法学概論 民法総則	兼担	教授	櫻井 弘晃 (52) <平成29年4月> 法学概論 民法総則
兼担	教授	大園 弘 (58) <平成30年4月> PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II						
兼担	教授	細木 由紀子 (63) <平成30年4月> PC TOEIC Training I PC TOEIC Training I	兼担	教授	細木 由紀子 (63) 〈平成29年4月〉 美盛(リーディング) PC TOEIC Training I PC TOEIC Training I	兼担	教授	細木 由紀子 (64) <平成29年4月> 美語 (リーディング) PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II
兼担	准教授	山本 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)						
					新美 尚行 (29) <平成29年4月>			新美 尚行 (30) <平成30年4月>
			兼担	助教	入門セミナー I 使取料・学業技 国内・学業技 国ハチン会・学 がと会・学 バレース ショギング・ウォーキング サッカー [編年] レクリエーション実技	専	助教	入門セミナー I 入門セミナー II 健康科学 実技 コーデーツ学 オーツ学 スポーツ学 バレース ジョギング・ウォーキング スキー 【隔解年】 レクリエーション 専門演習 I 専門演習 I
兼担	准教授	入門セミナーⅡ 海外社会実習				兼担	准教授	樋口 里華 (53) <平成30年4月> 国際社会学
兼担	准教授	国際社会学 藤井 大輔 (42) <平成29年4月> 入門セミナーI 入門セミナーI ストー・ ストー・ ストー・ ストー・ ストー・ ストー・ ストー・ ストー・	兼担	准教授	藤井 大輔 (42) 《平成29年4月> 《平成29年4月> 海外社会実習 プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ プランタプラクティスⅣ ファシリテーション実践	兼担	准教授	藤井 大輔 (43) <平成29年4月> ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス IV ファンリテンョン実践
兼担	准教授	Nicholas James Kemp (39) 〈平成29年4月〉 英語 I 英語 I 海外語学実習	兼担	准教授	Nicholas James Kemp (39) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (日常英会話) 海外語学実習	兼担	准教授	Nicholas James Kemp (40) 〈平成29年4月〉 英語 I 英語 I 英語 (日常英会話) 海外語学実習
兼担	准教授	日高 俊夫 (47) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (リーディング) Advanced TOEIC I Advanced TOEIC II	兼担	准教授	日高 俊夫 (47) <平成29年4月> 英語(リーディング) Advanced TOEIC I Advanced TOEIC I	兼担	准教授	日高 俊夫 (48) <平成29年4月> Advanced TOEIC I Advanced TOEIC I
兼担	准教授	岩元 啓也 (62) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (ライティング)	兼担	准教授	岩元 啓也 (62) 〈平成29年4月〉 英語 I 英語 I	兼担	准教授	岩元 啓也 (63) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (リーディング) 英語 (ライティング)
兼担	准教授	國崎 倫 (36) 《平成29年4月 > 英語 I 表語 I (リーディング) 表 表 (ライティング) 外国文学 海外語学実習	兼担	准教授	國崎 (36) 《平成29年4月> 英語 I 英語 (ライティング) 外国文学 海外語学実習	兼担	准教授	國崎 倫 (37) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (ライティング)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (年 (予定) 年月> 担当授業科目名
兼担	准教授	山田 良介 (45) <平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 I	兼担	准教授	山田 良介 (45) <平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 II	兼担	准教授	山田 良介 (46) <平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 II
兼担	准教授	韓国語Ⅲ 石崎 千景 (38) <平成29年4月> 心理学	兼担	准教授	韓国語Ⅲ 石崎 千景 (38) 〈平成29年4月〉 心理学	兼担	准教授	石崎 千景 (39) <平成29年4月> 心理学
兼担	准教授	入江 恵子 (40) <平成29年4月> 社会学	兼担	准教授	入江 恵子 (40) <平成29年4月> 社会学			
						兼任	講師	木下 直子 (39) <平成30年4月> 社会学
兼担	准教授	神 陽子 (42) <平成29年4月> 日本国憲法 法学概論 憲法 I	兼担	准教授	神 陽子 (42) 〈平成29年4月〉 日本国憲法 憲法 I	兼担	准教授	神 陽子 (43) <平成29年4月> 日本国憲法 憲法 I
兼担	准教授	 憲法 I 松本 幸一 (54) 〈平成29年4月> キャリアデザイン キャリアプラン インターンシップ 	兼担	准教授	 憲法 I 松本 幸一 (54) 〈平成29年4月〉 キャリアデザイン キャリアプラン インターンシップ 	兼担	准教授	憲法 Ⅱ 松本 幸一 (55) <平成29年4月> キャリアデザイン キャリアプラン インターンシップ
兼担	講師	キャリアプラン実践 Jeffrey Lea Williams (47) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (日常英会話)	兼担	講師	キャリアプラン実践 Jeffrey Lea Williams (47) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (日常英会話)	兼担	講師	キャリアプラン実践 Jeffrey Lea Williams (48) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (日常英会話)
兼担	講師	英語 (ビジネス英会話) 李 春女 (40) <平成30年4月>			英語(ビジネス英会話)	兼担	講師	英語 (ビジネス英会話) 海外語学実習 李 春女 (41) <平成30年4月>
兼任	講師	ビジネスと法律 石川 朋子 (45) <平成29年4月> アカデミックライティングI アカデミックライティングI	兼任	講師	石川 朋子 (45) <平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I	兼任	講師	ビジネスと法律 石川 朋子 (46) <平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I
						兼任	講師	加藤 和英 (65) <平成30年4月> アカデミックライティング! アカデミックライティング!
兼任	講師	上野 まり子 (38) <平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング II 日本語III 日本語III	兼任	講師	上野 まり子 (39) <平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本語Ⅲ 日本語IV	兼任	講師	上野 まり子 (40) <平成29年4月> アカデミックライティングI アカデミックライティングI 日本語II 日本語II
兼任	講師	名嶋 律子 (55) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (リーディング)	兼任	講師	名嶋 律子 (55) <平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (リーディング)	兼任	講師	名嶋 律子 (56) <平成29年4月> 英語 I 英語 I
兼任	講師	無語 (ワー 7 1 2 2 7) 岡山 智英子 (47) <平成29年4月 > 英語 I 英語 (リーディング) 英語 (ライティング)	兼任	講師	関山 智英子 (47) <平成29年4月> 英語 I 英語 I	兼任	講師	岡山 智英子 (48) <平成29年4月> 英語 I 英語 I
兼任	講師	泉澤 みゆき (52) <平成31年4月> 英語 I 英語 II	兼任	講師	泉澤 みゆき (52) 〈平成29年4月〉 英語 II	兼任	講師	泉澤 みゆき (53) 〈平成29年4月〉 英語 I 英語 I
兼任	講師	Kevin Maurice Weir (39) <平成29年4月> 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会話)	兼任	講師	Kevin Maurice Weir (39) <平成29年4月> 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会話)			
						兼任	講師	Michael Jordan Berg (39) <平成30年4月> 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス美会語)
	<u> </u>		I L	<u> </u>			<u> </u>	CA (STOKES)

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (年) 年月 (年) 年月 (年) 年月 (日) 年日	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	山下 哲雄 (66) <平成29年4月>			15-312-8-17-17-1			123) (22) (12)
		ドイツ語Ⅱ				兼任	講師	貨島 淳 (38) <平成30年4月>
		金 起勲 (42)			金 起勲 (42)			中国語 I 中国語 II 金 起勲 (43)
兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 I
兼任	講師	桂 林春 (53) <平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 I						
兼任	講師	石橋 ^ルミンダワティ (47) <平成29年4月> インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I 原口 大輔	兼任	講師	石橋 ^ルミンダワティ (47) 〈平成29年4月〉 インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 II	兼任	講師	石橋 ^ルミンダワティ (48) <平成29年4月> インドネシア語 I インドネシア語 I
兼任	講師	(29) <平成29年4月> 日本史						
			兼任	講師	標本 書一 (63) <平成29年4月> 日本史	兼任	講師	機木 晋一 (64) <平成29年4月> 日本史
兼任	講師	時枝 正信 (61) <平成30年4月> 知の技法				兼任	講師	時枝 正信 (62) <平成30年4月> 知の技法
兼任	講師	太田 泰弘 (54) 《平成29年4月》 自然科学概論	兼任	講師	太田 泰弘 (54) 《平成29年4月》 自然科学概論	兼任	講師	太田 泰弘 (55) <平成29年4月> 自然科学概論
兼任	講師	森田 洋 (46) 〈平成29年4月〉 環境科学	兼任	講師	森田 洋 (46) <平成29年4月> 環境科学	兼任	講師	森田 洋 (47) <平成29年4月> 環境科学
兼任	講師	田島 さと (46) 〈平成29年4月〉 スポーツ実技 パドミントン	兼任	講師	田島 さと (46) <平成29年4月> スポーツ実技 パドミントン	兼任	講師	田島 さと (47) <平成29年4月> スポーツ実技 バドミントン
兼任	講師	市原 猛志 (37) 〈平成29年4月〉 北九州学						
			兼任	講師	岩下 陽一 (68) 〈平成29年4月〉 北九州学	兼任	講師	岩下 陽一 (69) 〈平成29年4月〉 北九州学
						兼任	講師	畔津 憲司 (39) 〈平成30年4月〉
		嶋田 崇治						ミクロ経済学
兼任	講師	鳴田 宗治 (34) <平成30年4月> 地方財政論						
兼任	講師	川脇 慎也 (34) <平成30年4月>						
兼仕	再即	経済学史 兄井 彰						
兼任	講師	(54) <平成31年4月> スポーツ心理学 体育指導演習						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	上野 博美 (55) <平成29年4月> ビジネスマナー	兼任	講師	上野 博美 (55) <平成29年4月> ビジネスマナー			
						兼任	講師	長野 奈穂美 (54) <平成30年4月> ビジネスマナー
兼任	講師	古賀 弘徳 (49) <平成30年4月> ファシリテーション実践				兼任	講師	古賀 弘徳 (49) <平成30年4月> ファシリテーション実践
兼任	講師	宗像 優 (47) <平成31年4月> 国際政治学 I 国際政治学 I						

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の海车輪**を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- 【千成 2 3 千度】
 ・西山弘泰年任助教及戦により、柴畑恭介専任助教及び荒田英知兼任講師に変更。(教員審査省略)
 ・中野洋・兼担教授退職により、大津健登兼担准教授に変更。
 ・山本順之兼担准教授退職により、新美尚行兼担助教に変更。
 ・兼担教員が担当するため、ドイツ語担当予定の山下哲雄兼任講師削除。
 ・専任及び兼担教員が担当するため、韓国語担当予定の桂 林春兼任講師削除。
 ・原口大輔兼任講師辞退により、稷本晋・兼任講師に変更。
 ・市原猛志兼任講師辞退により、稷木晋・兼任講師に変更。

【平成30年度】

- マ帝 30年度】
 ・ 宇都宮活司専任教授退職により、川脇慎也専任准教授に変更。(教員審査省略)
 ・ 命 成華専任教授退職により、他放発・専任推教授及び小江茂徳兼任講師に変更。(教員審査省略)
 ・ 江本仲裁専任教授退職により、牧 和生専任准教授と変更。(教員審査省略)
 ・ 科目の性質上、学科移籍により、工作隆義兼担教授を専任教授に変更。(教員審査省略)
 ・ 科目の性質上、学科移籍により、天津健登兼担准教授を専任教授に変更。(教員審査省略)
 ・ 科目の性質上、学科移籍により、新達付著担助教を専任助教に変更。(教員審査省略)
 ・ 科目の性質上、学科移籍により、新美術行兼担助教を専任助教に変更。(教員審査省略)
 ・ 科目の性質上、学科移籍により、新美術の主義に表し、表し、木下直子兼任護師に変更。
 ・ アカデミックライティング担当者追加のため、加藤和英兼任講師追加。
 ・ ドをいい Maurice Weir兼任講師辞退により、Michael Jordan Berg兼任講師に変更。
 ・ 中国語担当者追加のため、興嘉、淳兼任講師追加。
 ・ ミクリ経済学担当者追加のため、映津憲司兼任護師追加。
 ・ 川路慎也兼任講師を新規採用により、専任准教授に変更。
 ・ 上野博美兼任講師辞退により、表野奈穂美兼任講師に変更。

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ <mark>裁可で設置された学部等の享任数員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (A0教員審査) を受けてください。A0教員事を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略
 - となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から 平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専仟教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
13	7
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専仟教員数

	Ē	2置時の計画	±1			現在(報告書提出時)の状況						況 現在 (報告書提出時) の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)		
15	6	_	6	27	15	10	_	5		15	10	_	5	30		
(15)	(6)	(—)	(6)	(27)						[0]	[4]	[—]	[<u>\</u> 1]	[3]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

 - 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員教を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 - 教員教および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員教を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 - し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

<u>現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)</u> = <u>30</u> = 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 0 = 0 = 現在(報告書提出時)の状況(B) #DIV/0!

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況		就任	£辞退(未)	就任)の理由			
			必修	入門セミナー I	1							
			必修	入門セミナーⅡ	1)							
			選択	地域学	1)							
			選択	国内社会実習	1							
			選択	プラン&プラクティス I	1							
			選択	プラン&プラクティスⅡ	<u> </u>							
			選択	プラン&プラクティスⅢ	1		7					
			選択	プラン&プラクティスⅣ	1							
1	助教	西山 弘泰	必修	地域経済論入門	1			より退職のた				
'	助教		選択	地域政策論	1	め	カ就任辞退(29)					
			選択	都市経営論	2							
			選択	地域づくり実習I	1							
			選択	地域づくり実習Ⅱ	1							
			必修	専門演習 I	1	1						
			必修	専門演習Ⅱ	1							
			必修	専門演習Ⅲ	1							
			必修	専門演習Ⅳ	1							
			必修	卒業研究	1							
		^=	(0)				多万是大 业为	lの生計 / F	- \			
	. h		(D)	1 () () ()			後任補充状況の集計(E)					
就任を辞退した教員数				† (a) + (b) + (c)	①の合計数(a	<u> </u>	②の合計		③の合言		_	
			必修	8 科目	必修 8	科目	■ 必修	0 科	■ 必修	0	科目	
			選択	10 科目	選択 9	科目	選択	1 科	選択	0	科目	
	- 1	人	自由	0 科目	自由 0	科目	自由	0 科	自由	0	科目	
			計	18 科目	計 17	科目	計	1 科	≡ il	0	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
 - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状	け 沢		辞任等の	理由				
			必修	入門セミナーI	1								
			必修	入門セミナーⅡ	1								
			選択	外国史	1								
			選択	国内社会実習	1								
			選択	プラン&プラクティスI	1								
			選択	プラン&プラクティスⅡ	1			ļ					
1	教授	宇都宮 浩司	選択	プラン&プラクティスⅢ	1			一身上の都で	一身上の都合(家族介護)のため				
'	7人1人	丁加古 石町	選択	プラン&プラクティスⅣ	1	辞任	(30)						
			選択	経済史	1								
			必修	専門演習 I	1								
			必修	専門演習 Ⅱ	1		7						
			必修	専門演習Ⅲ	1		7						
			必修	専門演習Ⅳ	1								
			必修	卒業研究	1]						
			必修	入門セミナー I	1								
			必修	入門セミナーⅡ	1								
			選択	人的資源管理論入門	1								
			選択	経営組織論	2								
			選択	人的資源管理論	1	①							
2	教授	兪 成華	選択	経営管理論	1	H30.	3.31付け、	一身上の都合のため辞任(30)					
			必修	専門演習I	1								
			必修	専門演習Ⅱ	1								
			必修	専門演習Ⅲ	1								
			必修	専門演習Ⅳ	1								
			必修	卒業研究	1								
			選択	日本経済	1								
3	教授	江本 伸哉	選択	日本経済論	1	H30.	3.31付け、	一身上の都で	合のため辞信	£ (30))		
			選択	アジア経済論	1								
合計 (F)								の集計(G)					
辞任した教員数				† (a) + (b) + (c)	①の合計数		②の合計		③の合計		.)		
			必修	14 科目	必修	14 科目	必修	0 科目	必修	0	科目		
	•		選択	14 科目	選択	13 科目	選択	1 科目	選択	0	科目		
	3	人	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目		
			計	28 科目	計	27 科目	計	1 科目	計	0	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合,赤字にて記入するとともに,「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a)			数 (a)	②の合計	十数 (b)	③の合計数 (c)		
		必修	22	科目	必修	22 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	24	科目	選択	22 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	
4	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	46	科目	計	44 科目	計	2 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

 (3) - ③合計(D)+(F)
 =
 4

 (2) - ②設置時の計画(A)
 27

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

【該当なし】

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別 担当予定科目			後任補充	状況	大況 辞任等の理由			
									// I= I= I=	16.50 - 46-1			
				É	計					後任補充	犬況の集計		
		趏	揺し	ンた教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数				数 (c)	
					必修	0	科目	必修	科	■ 必修	科目	必修	科目
					選択	0	科目	選択	科	選択	科目	選択	科目
				人	自由	0	科目	自由	科	自由	科目	自由	科目
					計	0	科目	計	科	計	科目	計	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職に伴い、後任人事を公募により実施した結果、平成29年4月1日付で採用することができたため、学生の履修等への影響は生 守住教員の返職に伴い、後任人事を公募により実施した相称、干成は4千万十日ではボデッることができたため、学生の履修等への影響は生じていない。学生への周知は、掲示及び時間割発表で行った。(29) 専任教員の退職に伴い、後任人事を公募により実施した結果、平成30年4月1日付で採用することができたため、学生の履修等への影響は生じていない。学生への周知は、掲示及び時間割発表で行った。(30)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時(○○年○○月)				【該当なし】
設置計画履行状況調查時(平成30年2月)	・現代ビジネス学部地域経済学科の改善に努めること。		平がを学学学で切めお期設一に(学、入る上年りしたたる会、校準施基)定のしまは(30) を上超合受究大専可告)超な員をと入っ者定者定ににを研、等認る知員格定とこのな学学学学学で切めお期設一に(共の善。、下 330 267 名に 299 大び係正(学、入る上年り 267 名 倍名 倍名 668	

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<現代ビジネス学部 地域経済学科>

(1) 設置計画変更事項等

【該当なし】

設	置	時	の	計	画	変更内容・状況,今後の見通しなど

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

九州国際大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(規程は別紙添付) 九州国際大学スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会(内規は別紙添付)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

FD委員会は、4月26日、6月28日、9月27日、3月20日の計4回、委員12名(委任、代理出席含む)で開催した。 SD委員会は、6月5日、11月13日の計2回、委員7名(委任、代理出席含む)で開催した。

c 委員会の審議事項等

FD委員会

- ・授業改善のための基本方針及び実施体制に関する事項
- ・授業評価の実施と点検に関する事項
- ・教授方法等の改善のための支援に関する事項
- ・学部ならびに研究科が行うFDの支援に関する事項
- ・FDの推進・啓発を目的とした講演会及び教職員研修等に関する事項
- ・その他学長の諮問する事項
- SD委員会
- ・学校法人業務の知識修得及び職務遂行能力向上に関する事項
- ・SDの実施方針及び実施計画の作成に関する事項
- ・SDの推進を目的とした講演会及び研修等に関する事項
- ・教職協働を前提とした教員および職員の資質向上に関する事項
- ・その他SDの推進に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

 $\mathsf{F}\,\mathsf{D}$

- ・学生による授業アンケートの実施
- ・学生による授業アンケートの集計・分析
- F D 研修会実施
- 教員相互の授業参観
- 新任教員のための研修会実施

S D

·SD研修会実施

b 実施方法

F D

- ・学生による授業アンケート(前学期・後学期)をWebにて年2回実施。大学院生は記述式で年1回実施した。
- ・学生による授業アンケートの結果をホームページに公表。
- ・FD研修会を11回実施。各学部教授会終了後、授業研究会を実施した。
- ・授業を公開し、授業見学を実施した。
- ・新任教員のための研修会を4月に実施した。

SD

- ·SD研修会を8回実施。
- ・新任職員のための研修会を4月に実施。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 学生による授業アンケート

学部・研究科の全開講科目対象に前学期425科目、後学期428科目、院20科目実施している。 FD委員会で分析結果の講評を行い、ホームページに公開している。

FD/SD研修会

平成29年5月24日「戦略的に「教育の質保証」に取り組むとは?」教員46名・職員26名参加

平成29年6月28日「カリキュラム・マネジメントのイメージ共有」教員43名・職員21名参加

平成29年7月5日「発達障害を抱える学生の対応」教員40名・職員22名参加

平成29年7月26日「第3期新評価システム説明会」教員49名・職員19名参加

平成29年8月23日「高大接続改革-ワークショップー」教員21名・職員21名参加

平成29年9月1・8日「人材育成構想の共有-ワークショップでのアイディア出し-」教員34名・職員17名参加

平成29年9月27日「ワークショップの振り返りと今後に向けて」教員57名参加

平成30年1月12日「カリキュラム運営の連携性向上ワークショップ」教員42名参加

平成30年3月14日「大学役職者の引き継ぎを兼ねた研修会」教員23名参加

平成30年3月27日「Assessmentor導入説明会」教員54名参加

・SD研修会

平成29年11月22日「業務領域の知見の獲得を目的とする(総務・教務)に関する発表」職員24名参加 平成29年12月13日「業務領域の知見の獲得を目的とする(総務)に関する発表」職員22名参加

·大学間連携SD研修会

平成29年8月25日「大学改革の動向、大学スポーツの活性化について」教員31名・職員33名参加 平成29年11月29日「高大接続の最新情報-新テストの進捗状況-」職員12名参加 平成30年2月23日「第3回IR研究会」教員19名・職員27名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生の授業アンケートにおける授業評価の低い教員については、副学長と教務部長による面談を実施し、 改善計画書の提出を求めている。一方、授業評価の高い教員については、授業を公開科目に設定し、全教員 が1回参観することを義務付けており、授業改善に取り組んでいる。

また、教育力の向上や教員・職員の資質向上に関するFD研修会・SD研修会を計画的かつ全学的に実施するなど、授業改善等に鋭意取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施

Web方式(PC版、スマートフォン版)によるKIUポータルを利用し、年2回実施

前学期:7月、後学期:1月

b 教員や学生への公開状況,方法等

講評を本学ホームページに公表している。

教員は、アンケート実施後、学生からのコメントに対して教員コメントを入力し、集計結果とあわせて学生に KIUポータルで公表している。また、授業改善の参考とするために全教員へ科目ごとの集計結果を配付している。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

時代や環境の変化による地域・社会の要望と期待に応えての設置であり、責任の重みを痛感している。

初年度定員を充足したことからも、設置の趣旨・目的が受験者層に認められたものと考えており、今後は、設置の趣旨・目的の達成のため、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、経済、経営、国際社会、異文化に関する知識と素養を有し、高いコミュニケーション能力を備えている職業人の養成を目指して教育を行う。

また、学生の定員管理を適正に行うための学生確保については、大学全体としてさらに努力する。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期 平成30年2月1日 公表
- b 公表方法 本学ホームページ上に公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に認証機関(日本高等教育評価機構)の評価を受け、評価基準に適合していると認定された。 次回、平成33年度に認証機関(日本高等教育評価機構)の評価受審を予定している。

- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
 - また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

\cap	設置計画履行状況報告書
\sim	以巴口巴及门外加州口目

- a ホームページに公表 (予定) の有無 ((有) ・ 無)
- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年7月1日)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人九州国際大学

(2) 大学名

九州国際大学

(3) 大学の位置

〒805-8512 福岡県北九州市八幡東区平野一丁目6番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(タカノ トシアキ) 高 野 利 昭 (平成20年2月)		
学長	(ホッタ ヤスジ) 堀 田 泰 司 (平成23年9月)	(ニシカワ キョウコ) 西川 京子 (平成28年10月)	任期満了のため 変更年月日:平成28年10月1日(29)
学 部 長	(オザワ トモハル) 男 澤 智 治 _(平成29年4月)	(ノムラ マサノブ) 野 村 政 修 (平成30年4月)	一身上の都合により学部長退任のため 変更年月日:平成30年4月1日 (30)
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時		備考	
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	川 行
		年	人	年次	人	
現代ビジネス学部				人		
国際社会学科	文学関係	4	100	_	400	
学士 (国際社会科学)	社会学·社会 福祉学関係					

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	I⊞II ₹⊐
A 入学定員	100 (-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
志願者数	239 — (—) (—) [3] [—]	202 — (–) (–) [14] [–]				
受験者数	239 — (—) (—) [3] [—]	200 — (–) (–) [14] [–]			1. 15倍	
合格者数	239 — (—) (—) [3] [—]	189 — (—) (—) [13] [—]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]		
B 入学者数	101 — (-) (-) [2] [-]	123 — (–) (–) [10] [–]				
入学定員超過率 B/A	1. 01	1. 23	_	_		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	9 年度	平成 3	0年度	平成3	1年度	平成3	2 年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1/用	行
	101	_	123	_	_	_	_	_		
1 年次	[2]	[-]	[10]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
			96	_	_	_	_	_		
2年次	/		[2]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
					_	_	_	_		
3年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
					(-)	(-)	(-)	(-)		
							_	_		
4年次							[–]	[-]		
		0.1	/	10			(-)	(-)		
=,		01		19	-	- ,	-	_		
計	[2]	[12]	L -	-]	L -	_		
	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	–)		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	大学李粉 (L)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	住子有奴(0)	巡子有数(a)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	土な返子理田
平成29年度	101 人	4 人	平成29年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、就職(1人)、除籍(1人)
平成30年度	219 人	1 人	平成29年度	1人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
平成30年度	219 人	1 \	平成30年度	0 人	0 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
平成31年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			平成31年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
亚代20左连			平成30年度	- 人	- 人	
平成32年度	- 人	- 人	平成31年度	- 人	- 人	
			平成32年度	- 人	- 人	
合 計	合 計 320 人 5 人					

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	101	=	3.96 %
【平成30年度】			
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	219	=	0.45 %
【平成31年度】			
平成31年度の退学者数(a) = <u>-</u>		=	#VALUE! %
【平成32年度】			
平成32年度の退学者数(a) = <u>-</u> 平成32年度の在学者数(b) = -		=	#VALUE! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代ビジネス学部 国際社会学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

	20			配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
l '	ΔЛ			次	W	+0	т.	+222	教	óπ	±4-	-	兼
H			入門セミナー I	1前	<u>修</u>	択	由	<u>授</u>	授 3	師	教	手	<u>担</u> 22
		١	入門セミナーⅡ	1後	2			5	3				22
		基				4			3				
		礎科	情報処理A	1前・後		1		1					1
		目	情報処理B	1後		1		1					1
			アカデミックライティングI	1前		2		2					4
			アカデミックライティング I	1後		2		2					4
			英語Ⅰ	1前	2				2		1		8
			英語Ⅱ	1後	2				2		1		8
			英語(リーディング)	1前・後		2			1				6
			英語(ライティング)	1前・後		2							6
			英語(日常英会話)	1前・後		2					1		1
	基		英語(ビジネス英会話)	1前・後		2					1		1
	幹教		ドイツ語 I	1前		2							2
	教育		ドイツ語Ⅱ	1後		2							2
	科		ドイツ語Ⅲ	2前		2							1
	目	外层	中国語 I	1前		2		1					2
	群	国語	中国語Ⅱ	1後		2		1					2
		和科	中国語皿	2前		2							1
		目	韓国語 I	1前		2		1					3
			韓国語Ⅱ	1後		2		1					3
			韓国語Ⅲ	2前		2		1					1
			インドネシア語 I	1前		2		1					1
			インドネシア語Ⅱ	1後		2		1					1
			インドネシア語Ⅲ	2前		2							1
			日本語 I	1前		2		1					
			日本語Ⅱ	1後		2		1					
			日本語皿	2前		2							1
共			日本語Ⅳ	2後		2							1
通			学園史	1前		2		1					
教			哲学	1前		2		1					
育科			日本史	1前		2							1
目			外国史	1前・後		2							1
			日本文学	1前・後		2							1
		人	心理学	1前・後		2							1
		文	外国文学	2前		2							2
			倫理学	2前・後		2		1					_
			教育学	2後		2		'					2
	教		知の技法	2後		2							1
	養数		日本文化	1前		2							1
	教育		法学	1前・後		2							1
	科		経済学	1前・後		2							2
	目		社会学	1前・後		2							1
	群	÷	地域連携講座	1後		2							1
			日本国憲法										
				2前 2後		2							1
			人権論 地域学		-	2		-					
				2前		2							1
			日本経済	1後									1
		_	自然科学概論	1前		2			4				1
			健康科学 数学	1前・後		2		-	1				1
		絥		1前・後		2		1					
	-	L	環境科学	1後	_	2							1
	1		キャリアデザイン	1後	2	_							1
	7	P	キャリアプラン	2前		2							1
	Ŧ		インターンシップ	2通		2							1
	秵	ŧ	キャリアプラン実践	3後		2							1
	9 ±	ţ.	スポーツ実技	1前・後		1			1				2
	9		海外語学実習	2通		2			1				2
	#	4	海外社会実習	2通		2		1	2				2
	Ħ	∄ ¥	国内社会実習	2通		2		1	1				3

【平成30年度】

		配単位数専任教員等の配置		置	兼								
;	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	<u> </u>			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼扣
			入門セミナー I	1前	2	1)(Щ	3	3	וום	软	Ŧ	2
		基	入門セミナーⅡ	1後	2			3	3				2
		埜 礎	情報処理A	1前・後		1		0					2
		科	情報処理B	1後		1		0					1
		目	アカデミックライティング I	1前		2		1					6
			アカデミックライティング I	1後		2		1					6
			英語 I	1前・後	2				1		1		8
			英語Ⅱ	1前・後	2				1		1		7
			英語(リーディング)	1前・後		2			0				4
			英語(ライティング)	1前・後		2		1					3
			英語(日常英会話)	1前・後		2			1		1		2
	基		英語(ビジネス英会話)	1前・後		2					1		2
	幹		ドイツ語 I	1前・後		2		1					0
	教		ドイツ語Ⅱ	1前・後		2		1					0
	育科		ドイツ語Ⅲ	2前		2		1					0
	目	外	中国語 I	1前・後		2		1					3
	目群	国	中国語Ⅱ	1前・後		2		1					3
		語科	中国語皿	2前		2							1
		目	韓国語 I	1前・後		2		1	1				4
			韓国語Ⅱ	1前・後		2		1	1				2
			韓国語Ⅲ	2前		2		1					0
			インドネシア語 I	1前・後		2		1					1
			インドネシア語Ⅱ	1前・後		2		1					1
			インドネシア語Ⅲ	2前		2		1					0
			日本語 I	1前		2		1					1
			日本語Ⅱ	1後		2		1					1
			日本語Ⅲ	2前		2							1
共			日本語Ⅳ	2後		2							1
通			学園史	1前		2		0					1
教育			哲学	1前		2		1					
科			日本史	1前		2							1
目			外国史	1前・後		2							1
			日本文学	1前・後		2							1
		人文	心理学	1前・後		2							1
		^	外国文学	2前		2							1
			倫理学	2前・後		2		1					
	#L		教育学	2後		2							1
	教養		知の技法	2後		2							1
	食教		日本文化	1前		2							1
	育		法学	1前・後		2							1
	科		経済学	1前・後		2							2
	目群		社会学	1前・後		2							1
	41		地域連携講座	1後		2							1
			日本国憲法	2前		2							1
			人権論	2後		2							1
			地域学	2前		2							1
			日本経済	1後		2							1
			自然科学概論	1前		2							1
			健康科学	1前・後		2			0		0		2
		然	数学	1前・後		2		0					1
			環境科学	1後		2							1
	1	+	キャリアデザイン	1前・後	2								1
	- 1	J	キャリアプラン	2前		2							1
	フ 和	, 4	インターンシップ	2通		2							1
	E 君	l¥	キャリアプラン実践	3後		2							1
	Đ	支	スポーツ実技	1前・後		1			0		0		3
	9	Ę	海外語学実習	2通		2		1	1		1		2
	100 110 110 110 110 110 110 110 110 110	왕	海外社会実習	2通		2		0	0				1
	E #	∃ .	国内社会実習	2通		2		0	0				1

Г	27.5		配	í	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼	
	科目		授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	区分	•		年次					教			_	兼
-	-		グローバル経済と生活	1前・後	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	手	担
			北九州学	1前・後	2								2
	1	ŧ	ビジネスと簿記	1前・後		2							1
		楚	ビジネスと法律	2前		2							1
		4	プラン&プラクティス I	1後		2		2	1				8
		∃ 详	プラン&プラクティスⅡ	2前		2		2	1				8
	石	Ŧ	プラン&プラクティスⅢ	2後		2		2	1				8
			プラン&プラクティスIV	3前		2		2	1				8
			PC English Training I	1前	2			2	1				1
			PC English Training I	1後		2		1	-				1
			国際社会入門 I	1前	2	_			1				•
			国際社会入門Ⅱ	1後	2				1				
			国際社会学	2前		2			1				
			国際経済学	2前		2		1	-				
			国際関係論	2前		2		'					1
1			比較文化論	2前 2前		2							1
1			日本文化論	2前		2							1
1			言語習得論	2前		2		1					
	身	ŧ	比較言語学	2後		2			1				
1	卓	4	国際金融論	2後		2							1
		4	国際関係史	2後		2							1
		∃ 详	比較宗教論	2後		2		1					•
	μ	т	アメリカ文学	2前		2		1					
			イギリス文学	2後		2							2
			国際マーケティング論	2後		2		1					
			国際政治学	3前		2							1
			異文化コミュニケーション論	3前		2			1				-
_			西洋の社会と文化	3後		2							1
専門			国際社会と福祉	3後		2							1
教			国際法	3後		2							1
育			アジア経済論	3前・後		2							1
科			グローバル化時代と国際関係	3後		2			2				
目			PC TOEIC Training I	2前		2		1					1
			PC TOEIC Training I	2後		2		1					1
			Advanced TOEIC I	2前		2			1				
			Advanced TOEIC II	2後		2			1				
			Communicative English I	2前		2			1				
1			Communicative English II	2後		2			1				
1			Reading I	2前		1		1					
1			Reading II	2後		1		1					
1		英	Writing I	2前		1		1					
1		光 語	Writing II	2後		1		1					
1		<u> </u>	英語学概論	2前		2			1				
1	7		英文法論	2後		2			1				
1		ス	英語音声学 I	2前		2		1					
1	ス科		英語音声学Ⅱ	2後		2		1					
1	目		英米文学講読A	3前		2							1
1	群		英米文学講読B	3後		2							1
1			英語学研究A	3前		2			1				
1			英語学研究B	3後		2			1				
1			Advanced Reading	3前		2			1				
1			Advanced Writing	3後		2			1				
1			Speech & Discussion	3後		2			1				
1		,	韓国事情 I	2前		2							1
1		/ ン	韓国事情Ⅱ	2後		2							1
1		_	韓国語会話 I	2前		2		1					
1		l	韓国語会話Ⅱ	2後		2		1					
1		7	日韓交流実践	2後		2							1
1		ース	日韓交流史	3前		2							1
			韓国語実践	3後		2							1

	科目			配	į	单位数	汝	車	任教	員等	の配	置	兼
			授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
'	区分			年次	M	+0	4	+==	教	óπ	±/-	手	兼
			グローバル経済と生活	1前・後	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	-	担 2
			北九州学	1前・後	2								2
	砉	ţ	ビジネスと簿記	1前・後		2							2
	碌		ビジネスと法律	2前		2							1
	科		プラン&プラクティス I	1後		2		1	1				4
	君		プラン&プラクティス II	2前		2		1	1				3
	η.	т	プラン&プラクティスⅢ	2後		2		1	1				4
			プラン&プラクティスⅣ	3前		2		2	1				8
			PC English Training I	1前	2	_		1	1				1
			PC English Training I	1後	_	2		1	•				1
			国際社会入門 I	1前	2	_			1				
			国際社会入門Ⅱ	1後	2				1				
			国際社会学	2前	_	2			1				
			国際経済学	2前		2		0	•				1
			国際関係論	2前		2		_					1
			比較文化論	2前		2							1
			日本文化論	2前		2							1
			言語習得論	2前		2		1					
	砉	ţ	比較言語学	2後		2			1				
	車	全	国際金融論	2後		2							1
	科		国際関係史	2後		2							1
	君		比較宗教論	2後		2		1					
	42	+	アメリカ文学	2 2前		2		1					
			イギリス文学	2後		2							1
			国際マーケティング論	2後		2		1					•
			国際政治学	3前		2							1
			異文化コミュニケーション論	3前		2			1				-
			西洋の社会と文化	3後		2			-				1
専			国際社会と福祉	3後		2							1
門数			国際法	3後		2							1
教育			アジア経済論	3前・後		2							1
科			グローバル化時代と国際関係	3後		2			2				-
目			PC TOEIC Training I	2前		2		0					1
			PC TOEIC Training I	2後		2		0					1
			Advanced TOEIC I	2前		2		•	1				-
			Advanced TOEIC II	2後		2			1				
			Communicative English I	2前		2			1				
			Communicative English II	2後		2			1				
			Reading I	2前		1		1	-				
			Reading II	2後		1		1					
			Writing I	2版 2前	-	1		1					
		英語	Writing I	2削 2後	-	1		1					
		語コ	英語学概論	2版 2前		2		-	1				
	إرا	\neg	英文法論	2後		2			1				
	コー	ス	英語音声学 I	2前		2		1	-				
	ス		英語音声学Ⅱ	2削 2後		2		1					
	科口		英瑞ョ戸子ュ 英米文学講読 A	2饭3前	-	2		H					1
	目群		英米文学講読 B	3後		2							1
	41+		英語学研究 A	3前	-	2			1				-
			英語学研究B	3後		2			1				
			央語子研究 B Advanced Reading	3前		2			1				
			Advanced Writing	3後		2			1				
			Speech & Discussion	3後		2			1				
			韓国事情 I	3仮 2前		2			1				0
		/\	韓国事情Ⅱ	2削 2後					-				
		ン	韓国語会話 I	2依 2前		2		1					1
		グル	韓国語会話 II	2後		2		1					
			日韓交流実践	2後		2			1				0
		Π-	日韓交流史			2			-				1
		ス	韓国語実践	3前 3後		2							1
			开 巴	り仮							<u> </u>		

				配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
				次	修	択	ф	授	教授	師	教	手	兼扣
			国際協力論	2前	19	2			1	HIP	72		122
	_		カルチュラルスタディーズ(思想)	2前		2		1					
	7	国	カルチュラルスタディーズ(社会)	2後		2			1				
	ス	際「	開発経済論	2後		2		1					
	科	Π	NGO論	2後		2			1				
	目群	ス	カルチュラルスタディーズ(宗教)	3前		2		1					
専	伊士		国際協力実践論	3前		2			1				
門教			NGO実践論	3後		2			1				
育	月		ビジネスマナー	1前		2							1
科	延禾		ファシリテーション実践	2前		2			1				1
目	1		対人コミュニケーション論	2前		2							1
	君	ŧ	ホスピタリティ・マネジメント	3前		2							1
			専門演習 I	2前	2			6	4				
	E	Ę	専門演習 Ⅱ	2後	2			6	4				
	핕		専門演習Ⅲ	3前	2			6	4				
	君	‡	専門演習Ⅳ	3後	2			6	4				
			卒業研究	4通	4			6	4				
			コーチング論	2前		2			1				
			バスケットボール	2前		1							1
			バレー	2前		1			1				
			テニス	2前		1			1				
	7		バドミントン	2後		1							1
	7	۲	ジョギング・ウォーキング	2後		1			1				
特別	,		サッカー	2後		1			1				
教	#		発育発達論	2後		2							1
育	另		スポーツ方法学	2後		2							1
科	孝		スキー(隔年開講)	2通		1			1				1
目	育		キャンプ(隔年開講)	2通		1			1				1
	₹ E		体力トレーニング論	3前		2							1
		•	スポーツ社会学	3前		2			1				
			スポーツ経営学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3後		2							1
			レクリエーション実技	3後		1			1				
			体育指導演習	3後		2							1

			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
	門教育科目 特別教――関連科目群 演習群 スポーツ特		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		国際協力論	2前		2			1				
	_	カルチュラルスタディーズ(思想)	2前		2		1					
		カルチュラルスタディーズ(社会)	2後		2			1				
	ハー	開発経済論	2後		2		0					1
	M	NGO論	2後		2			1				
		カルチュラルスタディーズ(宗教)	3前		2		1					
専	中十	国際協力実践論	3前		2			1				
		NGO実践論	3後		2			1				
		ビジネスマナー	1前		2							1
科		ファシリテーション実践	2前		2			1				1
目		対人コミュニケーション論	2前		2							1
		ホスピタリティ・マネジメント	3前		2							1
		専門演習 I	2前	2			4	2				
	演	専門演習Ⅱ	2後	2			4	2				
		専門演習Ⅲ	3前	2			6	4				
	群	専門演習Ⅳ	3後	2			6	4				
		卒業研究	4通	4			6	4				
		コーチング論	2前		2			0				1
		バスケットボール	2前		1							1
		バレー	2前		1			0				1
		テニス	2前		1			0				1
	7	バドミントン	2後		1							1
	ポ	ジョギング・ウォーキング	2後		1			0				1
特		サッカー	2後		1			0				1
別		発育発達論	2後		2							1
教育) 符 別	スポーツ方法学	2後		2							1
科	教	スキー(隔年開講)	2通		1			0				1
目	育	キャンプ(隔年開講)	2通		1			0				2
	科	体カトレーニング論	3前		2							1
1	目	スポーツ社会学	3前		2			1				
1		スポーツ経営学	3後		2							1
1		スポーツ心理学	3後		2							1
1		レクリエーション実技	3後		1			1				
L		体育指導演習	3後		2							1

【平成29年度】

				配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	四刀			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼扣
-			入門セミナー I	1前	2	101	Щ	3	2	וום	致	T	0
		基	入門セミナーⅡ	1後	2			3	2				0
		 	情報処理A	1前・後		1		1					1
		科	情報処理B	1後		1		1					0
		目	アカデミックライティング I	1前		2		2					4
			アカデミックライティングⅡ	1後		2		2					4
			英語 I	1前・後	2				1		1		7
			英語Ⅱ	1後	2				1		1		7
			英語(リーディング)	1前・後		2			1				4
			英語(ライティング)	1前・後		2		1					4
			英語(日常英会話)	1前・後		2			1		1		2
	基		英語(ビジネス英会話)	1前・後		2					1		2
	幹数		ドイツ語 I	1前・後		2		1					0
	教育		ドイツ語Ⅱ	1後		2		1					0
	科	L.	ドイツ語皿	2前		2							1
	目	外国	中国語I	1前・後		2		1					2
	群	語語	中国語Ⅱ	1後		2		1					2
		科	中国語皿	2前		2							1
		目	韓国語I	1前・後		2		1	2				2
			韓国語Ⅱ	1後		2		1	2				2
			韓国語皿	2前		2		1					1
			インドネシア語Ⅰ	1前・後		2		1					1
			インドネシア語Ⅱ	1後		2		1					1
			インドネシア語皿	2前		2		1					1
			日本語Ⅰ	1前		2		1					
			日本語Ⅱ	1後		2		1					1
共			日本語Ⅳ	2前 2後		2							1
通			学園史	1前		2		0					1
教			哲学	1前		2		1					-
育科			日本史	1前		2		•					1
目			外国史	1前・後		2							1
Γ			日本文学	1前・後		2							1
		人	心理学	1前・後		2							1
		文	外国文学	2前		2							2
			倫理学	2前・後		2		1					
	וע		教育学	2後		2							2
	教養		知の技法	2後		2							1
	食教	L	日本文化	1前		2							1
	育		法学	1前・後		2							1
	科口		経済学	1前・後		2							2
	目群		社会学	1前・後		2							1
	-1		地域連携講座	1後		2							1
		会	日本国憲法	2前		2							1
			人権論	2後		2							1
			地域学	2前		2							1
			日本経済	1後		2							1
			自然科学概論	1前		2							1
		自然	健康科学	1前・後		2			0		1		1
		然		1前・後		2		1					_
	3		環境科学	1後	_	2							1
	-	7	キャリアデザイン	1後	2	_							1
	7		キャリアプラン	2前		2							1
	Ŧ E	1	インターンシップ	2通		2							1
	#Q		キャリアプラン実践 スポーツ実技	3後		2			^		4		1
	ž	ţ	スポーツ美技 海外語学実習	1前・後		2			1		1		2
	9 E	₽	海外社会実習	2通		2		1	2				2
	E	3	国内社会実習	2通		2		1	1				3
_	ŧ	ŧ	四门江五天日	4週		Z							ა

区分 バー・・・・ 年 ・ 一 一 教 ・	教手	任·兼担 2 1 1 6 8
************************************	教 手 :	担 2 1 1 6
## 2		2 2 1 1 6
北九州学 181		2 1 1 6
世ジネスと簿記		1 1 6
世		6
マラン&ブラクティスI 1後 2 2 1 1 1 1 2 1 1 1		
プラン& ブラクティス		8
プラン& ブラクティスⅢ 2後 2 2 1 フラン& ブラクトマスⅣ 3前 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
PC English Training I 1前 2 1 1 PC English Training II 1後 2 1 国際社会入門 I 1前 2 1 国際社会入門 I 1後 2 1 国際社会入門 I 16 2 1 国際社会学 2前 2 1 国際社会学 2前 2 1 国際経済学 2前 2 1 日本文化論 2前 2 1 日本文化論 2前 2 1 日本文化論 2後 2 1 日際保保史 2後 2 1 日本学科 26 2 2 日本学科 26 2 1 日本学科 2 1 2		8
PC English Training I		8
国際社会入門 I		1
国際社会入門 I 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1
国際社会学 2前 2 1 1		
国際経済学 2前 2 1		
国際関係論 2前 2		
 比較文化論 日本文化論 言語習得論 2前 言語習得論 2前 2 1 財政言語学 2後 国際金融論 2後 国際関係史 投支 2 1 2 1 2 1 2 2 2 3 2 3 2 3 3 4 4 5 4 4 5 4 5 4 4<		
日本文化論 2前 2 1 1		1
書語習得論 2前 比較言語学 2後 国際金融論 2後 国際関係史 2後 比較宗教論 2後 アメリカ文学 2前 イギリス文学 2後 国際マーケティング論 2後 国際政治学 2 東文化コミュニケーション論 3前 西洋の社会と文化 専	\perp	1
基幹科目目		1
幹科目目 国際金融論 2後 2 国際関係史 2後 2 比較宗教論 2後 2 1 イギリス文学 26 2 1 国際マーケティング論 2後 2 1 国際政治学 3前 2 1 東文化コミュニケーション論 3前 2 1 西洋の社会と文化 36 2 1		
科目 国際世際開係史 主際関係史 2後 上較宗教論 2後 アメリカ文学 2前 イギリス文学 2後 国際マーケティング論 2後 国際政治学 3前 異文化コミュニケーション論 3前 西洋の社会と文化 36 専 2	1	1
H	-	1
アメリカ文学 2前 1 イギリス文学 2後 2 国際マーケティング論 2後 2 国際政治学 3前 2 異文化コミュニケーション論 3前 2 西洋の社会と文化 2 1		-
イギリス文学 2後 2 国際マーケティング論 2後 2 1 国際政治学 3前 2 1 異文化コミュニケーション論 3前 2 1 西洋の社会と文化 2 2 2		
国際マーケティング論 2後 2 1 国際政治学 3前 2 3前 2 1 西洋の社会と文化 5 2 2 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2
国際政治学 3前 2 3前 2 1 1 3前 2 1 1 3		
異文化コミュニケーション論 3前 2 1 1 西洋の社会と文化 3後 2		1
専 西洋の社会と文化 3後 2		
専		1
		1
<u> </u>		1
育 アジア経済論 3前・後 2		1
科 グローバル化時代と国際関係 3後 2 2		
日 PC TOEIC Training I 2前 2 1		1
PC TOEIC Training II 2後 2 1		1
Advanced TOEIC I 2前 2 1		
Advanced TOEIC II 2後 2 1		
Communicative English I 2前 2 1		
Communicative English II 2後 2 1		
Reading I 2前 1 1	\perp	
Reading II 2後 1 1	$\perp \downarrow \downarrow$	
英Writing I 2前 1 1	$\perp \perp$	
語 Writing Ⅱ 2後 1 1	-	
英語学概論 2前 2 1		
	+	
ス 英語音戸子工 2版 2 1	+	
科 英北方学書書 4 0分 0	++	1
B 英米文学講読 A 3前 2	+	1
英語学研究 A 3前 2 1	+	
英語学研究B 3後 2 1	+	
Advanced Reading 3前 2 1	 	
Advanced Writing 3後 2 1		
Speech & Discussion 3後 2 1		
韓国事情 I 2前 2	$\dashv \dagger$	1
☆ 韓国事情 Ⅱ 2後 2		1
グ 韓国語会話 I 2前 2 1		
ル 韓国語会話 II 2後 2 1		
日韓交流実践 2後 2		1
ス 日韓交流史 3前 2		1
韓国語実践 3後 2		•

П				配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			国際協力論	2前		2			1				
	П		カルチュラルスタディーズ(思想)	2前		2		1					
	Ī	国	カルチュラルスタディーズ(社会)	2後		2			1				
	ス	際コ	開発経済論	2後		2		1					
	科口	Ī	NGO論	2後		2			1				
	目群	ス	カルチュラルスタディーズ(宗教)	3前		2		1					
専	47		国際協力実践論	3前		2			1				
門教			NGO実践論	3後		2			1				
育	厚		ビジネスマナー	1前		2							1
科	垣和		ファシリテーション実践	2前		2			1				1
目	1º-		対人コミュニケーション論	2前		2							1
	君	ŧ	ホスピタリティ・マネジメント	3前		2							1
			専門演習 I	2前	2			6	4				
	淳		専門演習 Ⅱ	2後	2			6	4				
	긭	3	専門演習Ⅲ	3前	2			6	4				
	君	ŧ	専門演習Ⅳ	3後	2			6	4				
			卒業研究	4通	4			6	4				
			コーチング論	2前		2			1				
			バスケットボール	2前		1							1
			バレー	2前		1			1				
			テニス	2前		1			1				
	7		バドミントン	2後		1							1
	7	ę	ジョギング・ウォーキング	2後		1			1				
特	ı		サッカー	2後		1			1				
別	١,		発育発達論	2後		2							1
教育	牧		スポーツ方法学	2後		2							1
科	孝		スキー(隔年開講)	2通		1			1				1
目	育		キャンプ(隔年開講)	2通		1			1				1
	科		体カトレーニング論	3前		2							1
	E	1	スポーツ社会学	3前		2			1				
			スポーツ経営学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3後		2							1
			レクリエーション実技	3後		1			1				
			体育指導演習	3後		2							1

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

 - 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

- ・時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」、「准教授3」から「准教授2」、「兼 任・兼担22」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」、「准教授3」から「准教授2」、「兼 任・兼担22」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「情報処理B」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・時間割編成における開講期別の追加により、「英語 I」の配当年次を「1前・後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語 I」の配当年次を「1前・後」に変更。 に変更
- ・時間割編成における担当者の変更により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「兼任・兼担8」から「兼任・兼担7」 に変更
- ーータン。 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(リーディング)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担4」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(ライティング)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担6」から「兼任・兼 担4」に変更
- ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(日常英会話)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼担1」から 「兼任・兼担2」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「英語 (ピジネス英会話) 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。・時間割編成における開講期別の追加により、「ト゚イツ語 I 」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・時間割編队にあける開講期別の追加により、「F 17店1」のEヨチスで「INJ かっていてをよう。
 ・担当者の変更により、「F 77語I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・担当者の変更により、「F 77語I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「中国語I」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「韓国語I」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。

- ・時間割編成における担当者の追加・変更により、「韓国語 I 」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「兼任・兼担3」から「兼 任・兼担2」に変更。
- ・時間割編成における担当者の追加・変更により、「韓国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「兼任・兼担3」から「兼 任・兼担2」に変更。
- ・時間割編成における開講期別の追加により、「インドネシア語 I 」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「学園史」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当者の変更により、「健康科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- 「スポーツ実技」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。 担当者の変更により、
- ・時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラウティス I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担6」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「PC English Training I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼 扫2 L に変更
- ・時間割編成における担当者の変更により、「入門セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼 担2」に変更。

- ・専任教員学科移籍により、「情報処理A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「情報処理B」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍及び担当者の追加・変更により、「アカデミックライティングⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担4」から 「兼任・兼相6」に変更
- ・専任教員学科移籍及び担当者の追加・変更により、「アカデミックライティングⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担4」から 「兼任・兼担6」に変更。

- 「来任・来担0」「変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語 I 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担8」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「英語 I 」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(リーディンケ))」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「英語(ライティンケ)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「ドイツ語 I 」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「ドイツ語 II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「中国語 I 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担2」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「中国語 I 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担2」から「兼任・兼担2」から「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。

- ・時間割編成における担当者の変更により、「中国語I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「中国語II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「中国語II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時任教員学科移籍により、「韓国語II」の専任教員等の配置を「兼投2」から「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」に変更。
 ・時間割編成における開講期別の追加により、「韓国語II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語II」の専任教員等の配置を「准教授2」から「推教授1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「韓国語II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「インドネンア語II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「インドネンア語II」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担 0」に変更。
- の「に変え。 ・時間割編成における担当者の変更により、「日本語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「日本語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「外国文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割編成における担当者の変更により、「教育学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。

- ・専任教員学科移籍により、「健康科学」の専任教員等の配置を「助教」」から「助教の」、「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「健康科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「数学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。

- ・時間割編成における開講期別の追加により、「キャリアデザイン」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「スポーツ実技」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「海外語学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授0」、「肺動の変更により、「海外語学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授0」、「准教授2」から「准教授0」、「権教授2」から「准教授0」、「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授0」、「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権教授2」がら「権権を持ている。
- 任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「国内社会実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」、「兼 任・兼担3」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「ピジネスと簿記」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラクティス I 」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担6」から「兼任・兼 担4」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラクティスⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担8」から「兼任・兼 担3」に変更。
- ・時間割編成における担当者の変更により、「プラン&プラクティスⅢ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼担8」から「兼任・兼 担4」に変更。
- 専任教員学科移籍により、「国際経済学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・専任教員学科移籍により、「国際経済学」の専任教員等の配置を「教授」」から「兼任・兼担1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「作"以文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「PC TOEIC Training I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 ・時間割編成における担当者の変更により、「PC TOEIC Training II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 ・専任教員学科移籍により、「韓国事情 I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。
 ・専任教員学科移籍により、「日韓交流実践」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。

- ・専任教員学科移籍により、「開発経済論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「開発経済論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍及び時間割編成における担当者の変更により、「専門演習 I 」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」、「准教授4」か ら「准教授2」に変更。
- ・専任教員学科移籍及び時間割編成における担当者の変更により、「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」、「准教授4」か ら「准教授2」に変更。

- 5 「准教校2」に及足。 ・専任教員学科移籍により、「コーチング論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「パレー」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「テニス」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・専任教員学科移籍により、「ジョギング・ウォーキング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担1」に変更。 変更.
- ・時間割編成における担当者の変更により、「サッカー」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に 変更
- ・専任教員学科移籍により、「スキー」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- (注) 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - · 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置	時の計画			変更物	犬況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	州
15 科目	138 科目	0 科目	153 科目	15 科目 [0]	138 科目 [0]	0 科目 [0]	153 科目 [0]	

未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を (注) • 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位	立 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1							
2							
3							

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	o,
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	153	_	U	7

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分						内						容					備考
(1)		区	分			専	用		共	用			用する 校等の					計		
校		校舎	敷地	3		4	0, 020. 1	13 m ²		-	m²			-	m		4	10, 02	0.13 m	九州国際大学付属高等
		運動場	用地			2	0, 199. 2	26 m²		48, 195. 00	m²			-	m²		6	88, 39	4. 26 m	水台 足貝
地		小	計			6	0, 219. 3	39 m [*]		48, 195. 00	m²			-	m		10	08, 41	4.39 m	
等:		その	他				5, 614. 8	32 m ²		_	m²			-	m²			5, 61	4.82 m	(36, 363 m²)
₹		合	計			6	5, 834. 2	21 m ²		48, 195. 00	3, 195. 00 m ²		– m共用する他の		m²	ที		114, 029. 21 m		î
						専	用		共	用			用する 校等の					計		
(2) 校		舎	î			2	9, 852. 0)8 m²		-	m²			-	m²		2	29, 85	2.08 m	î
					(352. 08		(— m²		(- m²)		(_)8 m²)	
				講	義	室		演習	室	実験:	実習室		情報処	1理学習			語学	学習		
(3) 教	=	室 等	Ē			37	室		18 室		1	室	(補助	職員	4 室 1 人)		哺助耳	職員	一 室一 人)	大学全体
			· ·				新討	设学部等	€の名称					室			数			平成29年4月 専任准教授1名を学部移籍 のため (29)
(4) 専任教員研究室						現代	ビジネ	ス学部	国際社	会学科					1 3 1 6 1 5	}			室	平成30年4月 専任教授1名、専任准教 授1名、専任助教1名を学 科移籍のため(30)
				2	(書		学術雑	誌		•		視聴覚	咨判	松址	• 器	В	標	本	
(5)		設学部等 の名称	等	〔う	ち外[国書〕	ί	うち外	国書〕	電子ジ	ャーナル	L	7九4心兄	. 具和	152,174	TAP.	六	175		大学全体での共用分
						+	m e		種	〔うち:	【書囯作			点			点		点	(学術雑誌 - <mark>2,192</mark> 〔338〕
	TO //\	. * . * 1 - 2		170, 3	05 (2	3, 498)	1, 368	(302) (302) (301)		43 [4 34 [3			1, 203		_			_	<mark>2, 191</mark> 〔338〕 2, 190 〔338〕 電子ジャーナル
図書・設	現代	L` シ` ネス≘	子司)	(168, 39 (167, 40 (166, 40)9 (2	3 , 012))	(1, 368 (1, 363			(43 [43 (3 4 [34		(4	l, 160) l, 155) l, 153)	(-)	(-)	5 (5) 4 (4) 3 (3)
備				170, 3	05 (2	3, 498		1, 368	(302) (302) (301)		43 [4 34 [3			1, 203		-			-	→ 新規購入による増加の ため (29) (30)
		計		(168, 39 (167, 40 (166, 40)9 (2	3 , 012))	(1, 370 (1, 368	(302)) (302)) (301))		(43 [43 (34 [34		(4	l, 160) l , 155) l , 153)	(_)	(-)	(20)
(6) 図	1	書 館	3		面		積			閲覧』	座 席 劵	汝		収	納	可	能	₩	数	
(0) 🗵	E		3				4, 34	46.02 r	n	3	33					540,	000			- - 大学全体
(7) 体	1	育 館	3		面		積				体育館	以夕	トのスポ	『一ツ旅	施設の	概要				7, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,
			,				3, 94	19.94 r	n	武	道場				テ	ーニス	<u> </u>	۲		
		経費 —	_ 🗵		分		開設年		完成年度	_			開設前			没年度	-		艾年度	 , 共同研究費等
(8) 経費の	- 1	情り —		人当り				3千円	1987		購入費		-	87千円		737 			737千円	大学全体
積り及 維持方	び_		回业			-	1, 900		1, 900 7		講購入費			10千円	<u> </u>	700 1			757千円	 図書費には電子ジャーナ
が 概		学生1人 り 幼 <i>仕名</i>		第	1 年次		弗 2	年次		3 年次 880千円		4年		弟	5 年次			第64	牛次 - 千円	ル・データベースの整備費
	-	納付金		リ外のキ		チ円		880千F					80千円 利用料』	∇λ 2					T F	t)
学生納付金以外の維持方法の概要 私立大学等経常費補助金、施設設備利用料収入、雑収入 等																				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	九	州	围	際	大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入 定	学員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年		人	年	F次 ·		人		倍						
《 A C対象学部等》 法学部					人										
法律学科	4		150	-			660	学士	0. 87	昭和25年原	福岡県北平野一丁	九州市 目6番	5八幡東区 1号		
現代ビジネス学部															
<u>地域経済学科</u>	4		250	-			500	学士 (経済学)	1. 15	平成29年原	Ę	同上			
<u>国際社会学科</u>	4		100	-			200	学士 (国際社会 科学)	1. 09	平成29年月	Ε	同上			
経済学部															
経済学科	4		-	-		-	-	学士	-	平成6年月	Ę	同上		平成29年 募集停止	より学生 :
経営学科	4		_	-		-	-	学士(経営学)	-	平成6年月	Ę	同上		平成29年 募集停止	より学生 :
国際関係学部															
国際関係学科	4	-	_	-		-	-	学士 (国際 関係学)	-	平成17年月	Ę	同上		平成29年 募集停止	より学生 :
法学研究科															
法律学専攻	2		10	-			20	修士 (法律学)	0. 90	平成8年月	Ę	同上			
企業政策研究科企業政策専攻	2		10	_			20	修士	0. 15	平成13年原	Ē	同上			
正未以火守久			10				20	(企業 政策)	0. 13	1 10.10415		1111	•		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代ビジネス学部 国際社会学科>

(1)一①担当教員表 【認可時又は届出時】

	_	担当教員表							
]時又	は届出時】			t 29:	年度】		成30	年度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	100	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
-		担当授業科目名 正代 隆義 (55)	-			担当授業科目名 正代 隆義 (55)			担当授業科目名 正代 陸義 (56)
専	教授	< 平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I 情報処理A 情報処理B 「おデミックライティング I アカデミックライティング I 数学		専	教授	〈平成29年4月〉 入門セミナー I 入門セミナー I 情報処理 A 情報処理 B アカデミックライティング I アカデミックライティング I 数学	兼担	教授	 (平成30年4月>) 入門セミナーI 入門セミナーII 情報処理B アカボミックライティングI アカデミックライティングI 数学
専	教授	松 # 責英 (469年4月) (469年4月) 入八(29年4月) 入八(29年4月) 入八(29年4月) 八(29年4月) 八(29年4月) 八(29年4月) (29年4月) (2		俥	教授	松 # 責英 (46) (46) (46) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48	専	教授	松井 貴英 (47) (47) マ (47) マ (47) マ (47) マ (47) ス門セミナー I ス門セミナー I アカデミックライティング I アカデミックライティング I アカデミックライティン I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II アカルチュラルスタディーズ (8巻) 専門演習 II 専門演習 II 卒業研究
専	教授	青木 (60) 《平成29年4月> 入門ではまナーⅡ中世紀を10月1日 中国語語 Ⅱプラクティス Ⅱ アラクティス Ⅲ アランシス 『アランシス 『アランシス 『アランシス 『 東専門演演習習 Ⅲ 専門門演演習習 II 専専門演演習 II 専専門演演習 II 専専門演演習 II 専専門演演 II 申楽 研究		専	教授	青木 美樹 (60) 《平成29年4月》 中国語 I 中国語 I 中国語 I アランペンブラクティス I ブランペンブラクティス II アランペンブランペーケティング 国際門演習 II 専門門演習 II 専門門演習 II 専門門演習 II 専門演習 II 専門	専	教授	青木 美樹 (61) (平成29年4月> 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 東門演習 II 李業研究
専	教授	大形 15 里美		専	教授	大形 1	専	教授	形 里美 (525) < 100 (525) < 100 (526) < 100 (526) < 100 (526)
専	教授	中野(63)(高) (63)(高) (平成29年4月> 門也ミナミーI 入門也社済済 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)							
				*	准教授	韓国語 1 国際経済学 開発経済論	兼担	准教授	大津 健登 (36) 〈平成30年4月> 入門セミナー I 入門セミナー II 韓国語 II 韓国語 II でローバル経済と生活 国際経済済 東京洋学 アジア経済 I 開発経済論
専	教授	島浦 一博 (62) <平成29年4月> ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語面 声洋の社会と文化		申	教授	島浦 一博 (62) <平成29年4月> ドイツ語 II ドイツ語 II ドイツ語 II ボイツ語 II 西洋の社会と文化	専	教授	島浦 一博 (63) 〈平成29年4月〉 ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ボイツ語 I 西洋の社会と文化
兼任	講師	島浦 一博 (65) <平成29年4月> ドイツ語 II ドイツ語 II ドイツ語 II ドイツ語 II ボイツ語 II 西洋の社会と文化							

			事け				E /T	-	
職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	未	東任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
	担当授業科目名	ļ			担当授業科目名				担当授業科目名
教授	(47) <平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 I 韓国語 I 申日語 I 日本語 I		専	教授	(47) 《平成29年4月》 韓国語 I 韓国語 I 韓国語 I 申古語 I 日本語 I		専	教授	(48) <平成29年4月> 韓国語 I 韓国語 I 韓国語 II 韓国本語 I 日本語 I
#X1X	韓国語会話I 韓国国語会話I 専門門演習II 専門門演習II 専門門演習IV 卒業研究		4	7212	韓国語会話I 韓国語会話I 専門演習I 専門演習II 専門演習IV 卒業研究		,	72.12	海外語学実習 韓韓国語宗語 I I 東専門門演演習 I I 東専門演演習 II 東専門演演で 京等
教授	(42) < 平成29年4月> < 平成29年4月> < 平成29年4月> 海外社会東習 PC English Training II 言語習得論学 I 英語音声学 I 英語音音声学 I 専門灣習 I 専門門演習 II 専門門演習 II 専門門演習 II 中門演習 II 中間		一曲や	教授	(42) (平成29年4月> 薬師(ライティング) 海外社会実習 PC English Training I 言語習得論 英語音声学 I 英語音声学 I 専門演習 I 専門演習 II 専門演習 II 専門変習 II		専	教授	太田 かおり (43) <平成29年4月> 美語(ライティング) PC English Training I 同語音音声音 I 専門演習 I 専門演習 I 専門門演習 I 専門門演習 I 専門門演習 I 専門門演習 I 専門門演習 I 専門門で
	(57)				(57)				大園 弘 (58) <平成29年4月>
教授	PC English Training I アメリカ文学 PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II		専	教授	マー		専	教授	マー
	山本 順之 (41) (平成20年4日)					ŀ			
准教授	N. N								
					(29)				新美 尚行 (30) <平成30年4月>
	烧口 田並	ļ	*	助教	健康科学 スポーツ実技 国内社会実習 コーチング論 バレー テニス ジョギング・ウォーキング サッカー スキー [隔年] ネャンブ [隔年] スポーツ社会学 レクリエーション実技		兼担	助教	健康科学 スポーツ実技 コーチング論 バレー テニス ジョギング・ウォーキング サッカー スキー [隔年] スポーツ社会学 レクリエーション実技
准教授	様ロ 里華 (52) < 中枢 (29年4月 > 下 (29年4月 >) 下 (29年4月)		由中	准教授	様ロ (全型) (52) (52) (72) (72) (52) (72) (72) (72) (72) (72) (72) (72) (7		専	准教授	種口 里華 (53) (甲板29年4月) (平成29年4月) (平成29年4月) (下成29年4月) (下成
	数数数表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表<	数表	職名	### 本名 名	株	### (本行)	 氏(年 部) 2 (本) (年 部) 2 (本) (本) (年 部) 2 (本) (本) (年 市) 2 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	展名	展名

専任・	1		専任・			専任	. [ĺ
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		藤井 大輔 (42) <平成29年4月>			藤井 大輔 (42) <平成29年4月>			藤井 大輔 (43) <平成29年4月>
専	准教授	入門・大田・	専	准教授	海外社会大学のディスII ブラウティスII ブラウティスII ブラウクティスII ブラウクティスII ブラウクティスII グロー解的 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	専	准教授	ブラン&ブラクティスII ブラン&ブラクティスII ブラン&ブラクティスII ブラン&ブラクティスII グラン&ブラクティスV グローバルに神やと即原原係 ※ 国際協力論 NGO実践論 ファシリテーション実践 専門演習II 専門門演習II 専門門演習II 専専門演習IV 卒業研究
		Nicholas James Kemp (39) <平成29年4月>			Nicholas James Kemp (39) <平成29年4月>			Nicholas James Kemp (40) <平成29年4月>
專	准教授	英語 I 英語 I 海外語学実習 東文化コミュニケーション館 comunicative English I Comunicative English I の開門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 IV 卒業研究	専	准教授	英語 I 英語 I 大語 (日常美会語) 海外語学表習 同文化コミュニケーション館 comunicative English I Comunicative English I Speech & Discussion 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II	専	准教授	英語 I 英語 I 英語 (日常英全語) 海外語学実習 與文化コミュニケーション論 comunicative English I Comunicative English II Speech & Discussion 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 II 専門演習 IV 卒業研究
		日髙 俊夫 (47) (平成20年4日)			日髙 俊夫 (47) (平成20年4日)			日髙 俊夫 (48) 〈平成20年4日〉
専	准教授	<平成29年4月> 英語 I 英語 I 英語 (リーディング) PC English Training I 比較言語学のEIC I Advanced TOEIC I 英英語学研究 I 英英語学研究 I 基英語学研究 I Advanced Writing 専門演習 II ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	專	准教授		専	准教授	英文法論 英語学研究 I 英語学研究 I Advanced Reading Advanced Writing 専門演習II 専門演習IV 卒業研究
		Jeffrey Lea Williams (47) <平成29年4月>			Jeffrey Lea Williams (47) 〈平成29年4月〉			Jeffrey Lea Williams (48) <平成29年4月>
専	助教	英語 I 英語 I 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会話)	専	助教	英語 I 英語 I 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会話)	専	助教	英語 I 英語 I 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会話) 海外語学実習
	- ، س	男澤 智治 (54) <平成29年4月>						
兼坦	教授	入門セミナー I 入門セミナー I						
- ، مو	- ، بيد	進 美喜子 (61) <平成29年4月>						
兼坦	教授	入門セミナー I 入門セミナー I						
兼坦	教授	中間 信博 (52) <平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I				兼坦	. 教授	中間 信博 (54) 〈平成30年4月〉 入門セミナー I 入門セミナー I
兼坦	教授	村上 真理 (54) <平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナーII						
兼坦	教授	兪 成華 (46) <平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナーⅡ						
		西山 茂 (51)			西山 茂 (51)			西山 茂 (52)
兼坦	教授	<平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I 入門セミナー I 情報処理A 情報処理B	兼坦	教授	〈平成29年4月〉 情報処理 A	兼坦	. 教授	<平成29年4月> 情報処理A
		アカデミックライティング I アカデミックライティング I			アカデミックライティング I アカデミックライティング Ⅱ			アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本経済

+ 1-		Ī	+ /-			+ 15		ī
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		宇都宮 浩司 (44)			宇都宮 浩司 (44)			
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			
₩ +0	#F 140	入門セミナー I 入門セミナー II	*+-	##-140				
兼担	教授	外国史 国内社会実習	兼担	教授	外国史 国内社会実習			
		プラン&プラクティス I プラン&プラクティス I			プラン&プラクティス I プラン&プラクティス I			
		プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ			プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ			
								川脇 慎也 (34)
								<平成30年4月>
						兼担	准教授	外国史
								ブラン&ブラクティス! ブラン&ブラクティスE ブラン&ブラクティスN
		山口 秋義			山口 秋義			
		(55) <平成29年4月>			(55) <平成29年4月>			
兼担	教授	入門セミナー I	兼担	教授	V 1 100 E 0 F 17 17			
		入門セミナーⅡ 経済学			経済学			
		野村 政修 (58)			野村 政修 (58)			野村 政修 (59)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼担	教授	入門セミナー I 入門セミナー II	兼担	教授		兼担	教授	
					学園史			学園史
		地域連携講座 グローバル経済と生活			地域連携講座 グローバル経済と生活			地域連携講座 グローバル経済と生活
		崔 錦珍			崔 錦珍			崔 錦珍
		(50) <平成29年4月>			(51) <平成29年4月>			(52) <平成29年4月>
兼担	教授	入門セミナーI	兼担	教授		兼担	教授	
		入門セミナーⅡ			韓国語 I			韓国語 I
		海外社会実習			韓国語 Ⅱ 海外社会実習			韓国語Ⅱ
		福島(森) 規子			福島(森)規子			福島(森) 規子
		(54) <平成29年4月>			(54) <平成29年4月>			(55) <平成29年4月>
*+=	*******	入門セミナー I	*+P	≠ /-+∞		**	*/1-22	
兼担	教授	入門セミナーⅡ	兼担	教授		兼担	教授	
		国内社会実習 対人コミュニケーション論 ホスピタリティ・マネジメント			国内社会実習 対人コミュニケーション論 ホスピタリティ・マネジメント			対人コミュニケーション論 ホスピタリティ・マネジメント
		三輪 仁	-		三輪			三輪 仁
		(45)			(45)			(46)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼担	教授	入門セミナー I 入門セミナー II	兼担	教授		兼担	教授	
		北九州学 プラン&プラクティス I			北九州学 プラン&プラクティスI			北九州学
		プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ			プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ			プラン&プラクティスⅣ
		西村 成樹			西村 成樹			西村 成樹
		(55)			(55) <平成29年4月>			(56)
兼担	教授	アカデミックライティング I	兼担	教授	アカデミックライティング I	兼担	教授	アカデミックライティング I
		アカデミックライティングII 日本文学			アカデミックライティングⅡ 日本文学			アカデミックライティングII 日本文学
		日本文化			日本文化			日本文化
		伊東 美津 (59)			伊東 美津 (60)			伊東 美津 (61)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> 英語 I
兼担	教授	英語Ⅰ	兼担	教授	英語 I 英語 II	兼担	教授	英語Ⅱ
		英語 (リーディング) 英語 (ライティング)			英語(ライティング)			英語(リーディング)
						L		日本語 I 日本語 I
		福西 和幸 (45)			福西 和幸 (45)			福西 和幸 (46)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
		英語 I 英語 II						英語 I 英語 II
兼担	教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング)	兼担	教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング)	兼担	教授	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
		жим (211112))			英語(フィ フィ フッ) 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス (英会話)			英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス (英会話)
		海外語学実習			海外語学実習			海外語学実習
		海外社会実習			海外社会実習			海外社会実習
		藤 勝宣 (57)						
兼担	教授	<平成30年4月>			<u> </u>			
		教育学						
		鈴木 博康			鈴木 博康			鈴木 博康
兼担	教授	(46) <平成29年4月>	兼担	教授	(47) <平成29年4月>	兼担	教授	(48) <平成29年4月>
水担	狄扠	法学		採按	法学	末担	採按	法学
			i I		· · ·			
$\vdash \vdash \vdash$		*# *	l					***
		木村 貴 (45)						木村 貴 (46)
兼担	教授	(45) <平成30年4月>				兼担	教授	(46) <平成30年4月>
兼担	教授	(45)				兼担	教授	(46)

事だ		1	± 1~			士 1~		ı
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		江本 伸哉 (60) <平成29年4月>			江本 伸哉 (60) <平成29年4月>			
兼担	教授	日本経済 アジア経済論	兼担	教授	日本経済 アジア経済論			
		細木 由紀子 (62)			細木 由紀子 (63)			細木 由紀子 (64) <平成29年4月>
兼担	教授	<平成29年4月> PC English Training I	兼担	教授	<平成29年4月> 英語(リーディング) PC English Training I	兼担	教授	英語 (リーディング) PC English Training I
		PC English Training I PC TOEIC Training I PC TOEIC Training I			PC English Training II PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II			PC English Training II PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II
**	*# *# +=	藤 貴子 (43) <平成29年4月>	***	44.440	藤 貴子 (43) <平成29年4月>			
兼担	准教授	入門セミナー I 入門セミナー II	兼担	教授	経済学			
		楊 川 (34) <平成29年4月>			楊 川 (34) 〈平成29年4月〉			楊 川 (35) <平成29年4月>
兼担	准教授	入門セミナー I	兼担	准教授	▽ 十成25年4月ン	兼担	准教授	▽ マール 25 年4月ン
		入門セミナーⅡ 中国語Ⅱ 中国語単 教育学			中国語 I 中国語 II 教育学			中国語 I 中国語 I 教育学
		藤野 義和 (39) <平成29年4月>			藤野 義和 (40) <平成29年4月>			藤野 義和 (41) <平成29年4月>
兼担	准教授	入門セミナー I 入門セミナー I	兼担	准教授	▽ 十成25年4月ン	兼担	准教授	▽ ▼
		プラン&プラクティス I プラン&プラクティス Ⅱ			プラン&プラクティス I プラン&プラクティス II プラン&プラクティス II			プラン&プラクティス I プラン&プラクティス I プラン&プラクティス II
		ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ 天龍 洋平			ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ 天龍 洋平			プラン&ブラクティスⅢ プラン&ブラクティスⅣ 天龍 洋平
		(32) <平成29年4月>			(32) <平成29年4月>			(33) <平成29年4月>
兼担	准教授	入門セミナー I 入門セミナー II ブラン&プラクティス I ブラン&プラクティス II	兼担	准教授	ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I	兼担	准教授	ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I
		プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ			プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ			プラン&プラクティスⅡ プラン&プラクティスⅢ プラン&プラクティスⅣ
		上坂 豪 (46)						上坂 豪 (48)
兼担	准教授	<平成29年4月> 入門セミナー I				兼担	教授	<平成30年4月>
		入門セミナーⅡ 国際金融論					L	国際金融論
		岩元 啓也 (62) <平成29年4月>			岩元 啓也 (62) <平成29年4月>			岩元 啓也 (63) <平成29年4月>
兼担	准教授		兼担	准教授	英語 I 英語 I	兼担	准教授	
		英語(ライティング)						英語(リーディング) 英語(ライティング)
		池田 景子 (35) <平成29年4月>			池田 景子 (35) <平成29年4月>			池田 景子 (36) <平成29年4月>
兼担	本 ★ + 127	英語 I 英語 I	兼担	## ¥# +™	英語 I 英語 I	兼担	A# ★ + + 120	英語 I
水坦	准教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング) 外国文学		准教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング) 外国文学		准教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング) 外国文学
		イギリス文学 英米文学概論B			イギリス文学 英米文学概論B			英米文学概論B
		國崎 倫 (36) <平成29年4月>			國﨑 倫 (36) <平成29年4月>			國崎 倫 (37) <平成29年4月>
		英語 I 英語 I			英語 I 英語 I			英語 I 英語 I
兼担	准教授	英語 (リーディング) 英語 (ライティング) 外国文学	兼担	准教授	英語 (ライティング) 外国文学	兼担	准教授	英語(ライティング)
		が国文子 海外語学実習 イギリス文学 英米文学概論 A			が国スチ 海外語学実習 イギリス文学 英米文学概論 A			イギリス文学 英米文学概論 A
		山田 良介 (45)			山田 良介 (45)			山田 良介 (46)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> 入門セミナー I
兼担	准教授	韓国語 I 韓国語 I		准教授	韓国語 I 韓国語 I		准教授	入門セミナーII 韓国語 I 韓国語II
		韓国語Ⅲ 韓国事情 I			韓国語皿 韓国事情 I			韓国事情 I
		韓国事情Ⅱ 日韓交流実践 日韓交流史 韓国語実践			韓国事情 II 日韓交流実践 日韓交流史 韓国語実践			日韓交流実践 日韓交流史 韓国語実践
		石崎 千景 (38)			石崎 千景 (38)			石崎 千景 (39)
兼担	准教授	<平成29年4月> 心理学	兼担	准教授	〈平成29年4月〉 心理学	兼担	准教授	<平成29年4月> 心理学

					,			1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	准教授	入江 惠子 (40) <平成29年4月> 社会学	兼担	准教授	入江 惠子 (40) <平成29年4月> 社会学			产口及木竹口口
		国際社会と福祉			国際社会と福祉	兼任	講師	木下 直子 (39) <平成30年4月>
		神陽子						神 陽子
兼担	准教授	(43) <平成30年4月> 日本国憲法				兼担	准教授	(43) <平成30年4月> 日本国憲法
兼担	准教授	松本 幸一 (54) <平成29年4月> キャリアデザイン キャリアブラン インターンシップ キャリアブラン実践	兼担	准教授	松本 幸一 (54) <平成29年4月> キャリアデザイン キャリアプラン インターンシップ キャリアプラン実践	兼担	准教授	松本 幸一 (55) <平成29年4月> キャリアデザイン キャリアプラン インターンシップ キャリアプラン実践
		本下 温子 (43) <平成29年4月> 入門セミナー I 入門セミナー I 健康科学 スポーツ実技			本下 温子 (43) <平成29年4月> 健康科学 スポーツ実技			本下 温子 (44) <平成29年4月> 健康科学 スポーツ実技
兼担	助教	スパスケット 発達論大学 スポール 発育第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	兼担	助教	スペーフ・ ・	兼担	助教	Aハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハーハー
		田鹿 紘 (32) <平成29年4月>			田鹿 紘 (32) <平成29年4月>			田鹿 紘 (33) <平成29年4月>
兼担	助教	入門セミナー I 入門セミナー II 入経済学 グローバル経済と生活 ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II	兼担	助教	グローバル経済と生活 ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス IV	兼担	助教	プラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス IV
		西山 弘泰 (33) <平成29年4月>						
兼担	助教	入門セミナー I 入門セミナーⅢ 地域学 実習 ブラン&ブラクティスⅡ ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ						
					秦畑 恭介 (35) <平成29年4月>			乗畑 恭介 (36) <平成29年4月>
			兼担	助教	地域学 国内社会実習 ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス IV	兼担	助教	地域学 ブラン&ブラクティスN
		田尻 敬昌 (34) <平成29年4月>			田尻 敬昌 (34) <平成29年4月>			田尻 敬昌 (35) <平成29年4月>
兼担	助教	入門セミナー I 入門セミナー II ビジネスと簿記 ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II	兼担	准教授	ビジネスと簿記 ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティスⅢ ブラン&ブラクティスⅣ	兼担	准教授	ビジネスと簿記 ブラン&ブラクティスⅣ
		山本 雄三 (38) <平成29年4月>			山本 雄三 (38) <平成29年4月>			山本 雄三 (39) <平成29年4月>
兼担	助教	入門セミナー I 入門セミナー II ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス IV	兼担	准教授	ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス I ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス II ブラン&ブラクティス IV	兼担	准教授	ブラン&ブラクティス I V
兼担	助教	橋本 愛 (35) <平成29年4月> 中国語 I 中国語 I 中国語 II	兼担	助教	橋本 愛 (35) <平成29年4月> 中国語 I 中国語 II 中国語 II	兼担	助教	橋本 愛 (36) < 平成29年4月> 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 南外語学実習
兼担	助教	李 春女 (40) <平成30年4月>				兼担	助教	李 春女 (41) <平成30年4月>
		ビジネスと法律						ビジネスと法律

± /-			+			± 1-		1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	石川 朋子 (45) <平成29年4月>	兼任	講師	石川 朋子 (45) <平成29年4月>	兼任	講師	石川 朋子 (46) <平成29年4月>
		アカデミックライティング I アカデミックライティング II 上野 まり子			アカデミックライティング I アカデミックライティング I 上野 まり子			アカデミックライティング I アカデミックライティング I 上野 まり子
		(38)			(39)			(40)
兼任	講師	<平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本語Ⅲ	兼任	講師	<平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本語Ⅲ	兼任	講師	<平成29年4月> アカデミックライティング I アカデミックライティング I 日本語Ⅲ
		日本語Ⅳ 名嶋 律子			日本語Ⅳ 名嶋 律子			日本語Ⅳ 名嶋 律子
		石鳴 年子 (55) <平成29年4月>			(55) <平成29年4月>			(56) <平成29年4月>
兼任	講師	英語 I 英語 I 英語 (リーディング)	兼任	講師	英語 I 英語 I 英語 (リーディング)	兼任	講師	英語 I 英語 II
		岡山 智英子			岡山 智英子			岡山 智英子
		(47) <平成29年4月>			(47) <平成29年4月>			(48) <平成29年4月>
兼任	講師	英語 I 英語 Ⅲ 英語 (リーディング) 英語 (ライティング)	兼任	講師	英語 I 英語 II	兼任	講師	英語 I 英語 II
		泉澤 みゆき (52)			泉澤 みゆき (52)			泉澤 みゆき (53)
兼任	講師	<平成31年4月> 英語 I	兼任	講師	〈平成29年4月〉 英語 I	兼任	講師	〈平成29年4月〉 英語 I
		英語Ⅱ Kevin Maurice Weir			英語 II Kevin Maurice Weir			英語Ⅱ
兼任	講師	(39) <平成29年4月>	兼任	講師	(39) <平成29年4月>			
		英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会 話)			英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス英会 話)			
								Michael Jordan Berg (39)
						兼任	講師	<平成30年4月> 英語 (日常英会話) 英語 (ビジネス美会語)
		山下 哲雄						夫婦(ヒンネス夫養婦)
兼任	講師	(66) <平成29年4月>						
		ドイツ語 I ドイツ語 II						
								貨島 淳 (38) <平成30年4月>
						兼任	講師	中国語 I 中国語 I
		金 起勲 (42)			金 起勲 (42)			金 起勲 (43)
兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I	兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I	兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I
		韓国語Ⅱ 桂 林春			韓国語Ⅱ			韓国語Ⅱ
兼任	講師	(53) <平成29年4月>						
		韓国語 I 韓国語 II						
	· <u>-</u>	石橋 ^ルミンダワティ (47) <平成29年4月>			石橋 ヘルミンダワティ (47) <平成29年4月>			石橋 ヘルミンダワティ (48) <平成29年4月>
兼任	講師	ヘール25年4月ン インドネシア語 I インドネシア語 II インドネシア語 II	兼任	講師	インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 Ⅲ インドネシア語 Ⅲ	兼任	講師	インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I
		原口 大輔 (29) <平成29年4月>						
兼任	講師	日本史						
					機木 晋一 (63)			櫻木 晋一 (64)
			兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
		時枝 正信			日本史			時枝 正信
兼任	講師	(61) 〈平成30年4月〉				兼任	講師	(62) 〈平成30年4月〉
-in ide	H, 7 H/P	知の技法				NK II	min mile	知の技法
		太田 泰弘 (54) <平成29年4月>			太田 泰弘 (54) <平成29年4月>			太田 泰弘 (55) <平成29年4月>
兼任	講師	自然科学概論	兼任	講師	自然科学概論	兼任	講師	自然科学概論
		森田 洋 (46)			森田 洋 (46)			森田 洋 (47)
兼任	講師	<平成29年4月> 環境科学	兼任	講師	《平成29年4月》 環境科学	兼任	講師	<平成29年4月> 環境科学
1		50 , , 3						

_								
専任・ 兼担 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	田島 さと (46) <平成29年4月> スポーツ実技 バドミントン	兼任	講師	田島 さと (46) <平成29年4月> スポーツ実技 バドミントン	兼任	壬 講師	田島 さと (47) <平成29年4月> スポーツ実技 バドミントン
兼任	講師	市原 猛志 (37) <平成29年4月> 北九州学						
			兼任	講師	岩下 陽一 (68) 〈平成29年4月〉 北九州学	兼	壬 講師	岩下 陽一 (69) <平成29年4月> 北九州学
兼任	講師	加藤 和英 (65) <平成30年4月> 国際関係論 国際関係史				兼任	壬 講師	加藤 和英 (65) <平成30年4月> 7カデミッラライティングエ 国際関係論 国際関係史
兼任	講師	德安 祐子 (43) <平成30年4月> 比較文化論 日本文化論						
						兼	壬 講師	比較文化論
						兼	壬 講師	後藤 晴子 (39) 《平成30年4月》 日本文化論
兼任	講師	宗像 優 (47) < 平成31年4月>						
兼任	講師	上野 博美 (55) <平成29年4月> ビジネスマナー	兼任	講師	上野 博美 (55) <平成29年4月> ビジネスマナー			
						兼	壬 講師	長野 奈穂美 (54) <平成30年4月> ビジネスマナー
兼任	講師	古賀 弘徳 (49) <平成30年4月> ファシリテーション実践				兼任	壬 講師	古賀 弘徳 (49) <平成30年4月>
兼任	講師	兄井 彰 (54) <平成31年4月> スポーツ心理学 体育指導演習						
					1			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 再変4年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- 【平成 2 9 年度】

 ・ 中野洋一専任教授退職により、大津健登専任准教授に変更。 (教員審査省略)
 ・ 山本順之専任推教授退職により、新美尚行専任助教に変更。 (教員審査省略)
 ・ 専任教員が担当するため、入門セミナー I・II 担当予定の男澤智治兼担教授、進 美喜子兼担教授、村上真理兼担教授、兪 成華兼担教授削除。
 ・ 科目の性質上、学科移籍により、山田良介兼担准教授を専任准教授に変更。 (教員審査省略)
 ・ 西山弘泰兼担助教退職により、柴畑恭介兼担助教に変更。
 ・ 専任教員が担当するため、ドイツ語担当予定の地下哲雄兼任講師削除。
 ・ 専任教員が担当するため、韓国語担当予定の地 林春兼任講師削除。
 ・ 原口大輔兼任講師辞退により、櫻木書一兼任講師に変更。
 ・ 市原猛志兼任講師辞退により、岩下陽一兼任講師に変更。

【平成30年度】

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の事任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略 となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から 平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

	Ē	0置時の計画	Ē.			現在(報	告書提出時)の状況		現在	(報告書提	出時)の完	成年度時の	計画
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)
8	5	-	1	14	7	5	_	1	13	6	5	_	1	12
(9)	(5)	(-)	(1)	(15)						[△2]	[0]	[-]	[0]	[△2]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

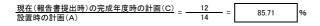
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、 **完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: \triangle 1)

(2) - ③ 年齢構成

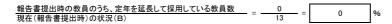
	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
			必修	入門セミナー I	1	
			必修	入門セミナーⅡ	1	
1	教授	中野 洋一	選択	国内社会実習	3	□平成29年3月一身上の都合(病気療養)により退職 □のため就任辞退(29)
			選択	国際経済学	1	207 E 17 E (207
			選択	開発経済論	1	
			必修	入門セミナー I	3	
			必修	入門セミナーⅡ	3	
			選択	健康科学	1	
			選択	スポーツ実技	1	
			選択	国内社会実習	1	
			選択	コーチング論	1	
2	准教授	山本 順之	選択	バレー	1	平成29年3月一身上の都合により退職のため就任辞
_	准拟汉	四个 顺之	選択	テニス	1	退(29)
			選択	ジョギング・ウォーキング	1	
			選択	サッカー	1	
			選択	スキー 【隔年】	1	
			選択	キャンプ 【隔年】	1	
			選択	スポーツ社会学	1	
			選択	レクリエーション実技	1	
		△ ÷	(D)			後任補充状況の集計 (E)
_	± /+ + ++			1 () . () . ()	(A) (A) = 1 ** (A)	1
吊	7.仕を辞	退した教員数		(a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	0.14.00.11
			必修	4 科目	必修 2	科目 必修 0 科目 必修 2 科目
	2	人	選択	15 科目	選択 14	科目 選択 0 科目 選択 1 科目
	۷	^	自由	0 科目	自由 0	科目 自由 0 科目 自由 0 科目
			計	19 科目	計 16	科目 計 0 科目 計 3 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
 - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

【該当なし】

番号	職	位	専任教員氏	名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		辞任等の	理由	
				合計	(F)				ŧ	後任補充状況	の集計(G)		
	Ħ	辞任し	した教員数		担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数				·数 (c)	
					必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
					選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			,	Į.	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
				計	0	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) · 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				後任神	#充状況の集	計(E)+	(G)	
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c				①の合計	後任補充状況の集計(E) + (G) 計数(a) ②の合計数(b) ③の合計数 2 科目 必修 0 科目 必修 14 科目 選択 0 科目 選択 0 科目 自由 0 科目 自由				十数 (c)
		必修	4	科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科
		選択	15	科目	選択	14 科目	選択	0 科目	選択	1 科
2	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科
		計	19	科目	計	16 科目	計	0 科目	計	3 科

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	2 _	Г	14 20	ام
(2)-②設置時の計画(A)	_	14	1	14.20	1%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

【該当なし】

							F HOV-	コなし』					
番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		辞任等の	理由	
_													
				f	計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計	十数(a)	②の合言	十数 (b)	③の合計	数 (c)				
					必修	0	科目	必修	科	业修	科目	必修	科目
				_	選択	0	科目	選択	科	選択	科目	選択	科目
				λ.	自由	0	科目	自由	科	自由	科目	自由	科目
					計	0	科目	計	科	計	科目	計	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職に伴い、後任人事を公募により実施した結果、	平成29年4月1日付で採用することができたため、	学生の履修等への影響は生
じていない。学生への周知は、掲示及び時間割発表で行った。		. =
		ļ
		ļ

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

【該当なし】

区 分	留意事項等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()</u> <u>書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<現代ビジネス学部 国際社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

【該当なし】

設	置	時	の	計	画	変更内容・状況,今後の見通しなど

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

九州国際大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(規程は別紙添付) 九州国際大学スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会(内規は別紙添付)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

FD委員会は、4月26日、6月28日、9月27日、3月20日の計4回、委員12名(委任、代理出席含む)で開催した。 SD委員会は、6月5日、11月13日の計2回、委員7名(委任、代理出席含む)で開催した。

c 委員会の審議事項等

FD委員会

- ・授業改善のための基本方針及び実施体制に関する事項
- ・授業評価の実施と点検に関する事項
- ・教授方法等の改善のための支援に関する事項
- ・学部ならびに研究科が行うFDの支援に関する事項
- ・FDの推進・啓発を目的とした講演会及び教職員研修等に関する事項
- ・その他学長の諮問する事項
- SD委員会
- ・学校法人業務の知識修得及び職務遂行能力向上に関する事項
- ・SDの実施方針及び実施計画の作成に関する事項
- ・SDの推進を目的とした講演会及び研修等に関する事項
- ・教職協働を前提とした教員および職員の資質向上に関する事項
- ・その他SDの推進に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

 $\mathsf{F}\,\mathsf{D}$

- ・学生による授業アンケートの実施
- ・学生による授業アンケートの集計・分析
- F D 研修会実施
- 教員相互の授業参観
- 新任教員のための研修会実施

S D

·SD研修会実施

b 実施方法

F D

- ・学生による授業アンケート(前学期・後学期)をWebにて年2回実施。大学院生は記述式で年1回実施した。
- ・学生による授業アンケートの結果をホームページに公表。
- ・FD研修会を11回実施。各学部教授会終了後、授業研究会を実施した。
- ・授業を公開し、授業見学を実施した。
- ・新任教員のための研修会を4月に実施した。

SD

- ·SD研修会を8回実施。
- ・新任職員のための研修会を4月に実施。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 学生による授業アンケート

学部・研究科の全開講科目対象に前学期425科目、後学期428科目、院20科目実施している。 FD委員会で分析結果の講評を行い、ホームページに公開している。

FD/SD研修会

平成29年5月24日「戦略的に「教育の質保証」に取り組むとは?」教員46名・職員26名参加

平成29年6月28日「カリキュラム・マネジメントのイメージ共有」教員43名・職員21名参加

平成29年7月5日「発達障害を抱える学生の対応」教員40名・職員22名参加

平成29年7月26日「第3期新評価システム説明会」教員49名・職員19名参加

平成29年8月23日「高大接続改革-ワークショップー」教員21名・職員21名参加

平成29年9月1・8日「人材育成構想の共有-ワークショップでのアイディア出し-」教員34名・職員17名参加

平成29年9月27日「ワークショップの振り返りと今後に向けて」教員57名参加

平成30年1月12日「カリキュラム運営の連携性向上ワークショップ」教員42名参加

平成30年3月14日「大学役職者の引き継ぎを兼ねた研修会」教員23名参加

平成30年3月27日「Assessmentor導入説明会」教員54名参加

・SD研修会

平成29年11月22日「業務領域の知見の獲得を目的とする(総務・教務)に関する発表」職員24名参加 平成29年12月13日「業務領域の知見の獲得を目的とする(総務)に関する発表」職員22名参加

·大学間連携SD研修会

平成29年8月25日「大学改革の動向、大学スポーツの活性化について」教員31名・職員33名参加 平成29年11月29日「高大接続の最新情報-新テストの進捗状況-」職員12名参加 平成30年2月23日「第3回IR研究会」教員19名・職員27名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生の授業アンケートにおける授業評価の低い教員については、副学長と教務部長による面談を実施し、 改善計画書の提出を求めている。一方、授業評価の高い教員については、授業を公開科目に設定し、全教員 が1回参観することを義務付けており、授業改善に取り組んでいる。

また、教育力の向上や教員・職員の資質向上に関するFD研修会・SD研修会を計画的かつ全学的に実施するなど、授業改善等に鋭意取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施

Web方式(PC版、スマートフォン版)によるKIUポータルを利用し、年2回実施

前学期:7月、後学期:1月

b 教員や学生への公開状況,方法等

講評を本学ホームページに公表している。

教員は、アンケート実施後、学生からのコメントに対して教員コメントを入力し、集計結果とあわせて学生に KIUポータルで公表している。また、授業改善の参考とするために全教員へ科目ごとの集計結果を配付している。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

時代や環境の変化による地域・社会の要望と期待に応えての設置であり、責任の重みを痛感している。

初年度定員を充足したことからも、設置の趣旨・目的が受験者層に認められたものと考えており、今後は、設置の趣旨・目的の達成のため、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、経済、経営、国際社会、異文化に関する知識と素養を有し、高いコミュニケーション能力を備えている職業人の養成を目指して教育を行う。

また、学生の定員管理を適正に行うための学生確保については、大学全体としてさらに努力する。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期 平成30年2月1日 公表
 - b 公表方法 本学ホームページ上に公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に認証機関(日本高等教育評価機構)の評価を受け、評価基準に適合していると認定された。 次回、平成33年度に認証機関(日本高等教育評価機構)の評価受審を予定している。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表(予定)の有無 ((有) · 無)
 - b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年7月1日)
- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

○九州国際大学ファカルティ・ディベロップメント委員会に関する規程

(平成20年1月1日制定

最終改正 平成29年4月1日

(目的)

第1条 この規程は、九州国際大学の教育の質的向上に向けた全学的な教育支援政策の企画・開発及びファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動の推進・支援を行うために設置する九州国際大学FD委員会(以下「委員会」という。)の構成、役割、運営等について定めることを目的とする。

(構成)

- 第2条 委員会は、次の委員をもつて構成する。
 - (1) 学長
 - (2) 各副学長
 - (3) 教務部長
 - (4) 各学部長及び各副学部長
 - (5) 各研究科長
 - (6) 大学事務局長
 - (7) 大学事務局大学総務室長
 - (8) 大学事務局学務事務室長
- 2 委員長は学長とし、副委員長は教務部長とする。
- 3 削除
- 4 削除

(FD推進委員)

- 第3条 各学部及び各研究科にそれぞれ2名以上のFD推進委員を置く。
- 2 F D推進委員は、所属する学部又は研究科のF Dの実行担当者とする。 (審議事項)
- 第4条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。
 - (1) 授業改善のための基本方針及び実施体制に関する事項
 - (2) 授業評価の実施と点検に関する事項
 - (3) 教授方法等の改善のための支援に関する事項
 - (4) 学部ならびに研究科が行うFDの支援に関する事項
 - (5) FDの推進・啓発を目的とした講演会及び教職員研修等に関する事項
 - (6) その他学長の諮問する事項

(運営)

- 第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 3 委員長は、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

4 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、審議事項の議事は、出席委員の意見を聴取して委員長が決定する。

(事務)

第6条 委員会に関する事務は、大学事務局学務事務室が行う。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、教育研究協議会において審議する。

附則

- 1 この規程は、平成20年1月1日から施行する。
- 2 初回に選出された第2条第1項第3号ならびに第4号に定める委員の任期は、平成 22年3月31日までとする。

附則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成27年4月1日)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成29年4月1日)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

○九州国際大学SD委員会運営に関する内規 (平成29年6月1日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、学校法人九州国際大学職員研修規程(以下「研修規程」という。) 第13条の規定に基づき、九州国際大学SD委員会(以下「委員会」という。)の運営 等に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この内規において、「SD(スタッフ・ディベロップメント)」とは、大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることその他必要な取組を行うことをいう。

(構成)

- 第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。
 - (1) 大学事務局長
 - (2) 大学総務室長
 - (3) 法人総務室長
 - (4) 教務部長
 - (5) 大学事務局長から委嘱を受けた事務職員 3名
- 2 委員長は大学事務局長とし、副委員長は、大学事務局長が指名する。

(所掌業務)

- 第4条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、SDを推進するための業務を行う。
 - (1) 学校法人業務(総務、財務、人事、企画、教務、厚生補導、研究等)の知識修得及 び職務遂行能力の向上に関すること。
 - (2) SDの実施方針及び実施計画の作成に関すること。
 - (3) SDの推進を目的とする講演会及び研修等の実施に関すること。
 - (4) 教職協働を前提とした教員および職員の資質向上に関すること。
 - (5) その他SDの推進に関すること。
- 2 委員会は、九州国際大学FD委員会(以下「FD委員会」という。)と連携して所掌 業務を行う。

(運営)

- 第5条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。
- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。

- 3 委員長は、必要と認めたときは、委員以外の者を出席させることができる。
- 4 委員会は、委員の過半数の出席をもつて成立し、議事は、出席委員の意見を聴取して 委員長が決定する。

(事務局)

第6条 委員会に関する事務は、大学事務局大学総務室が行う。

(改廃)

第7条 この内規の改廃は、教育研究協議会において審議する。

附則

この内規は、平成29年6月1日から施行する。